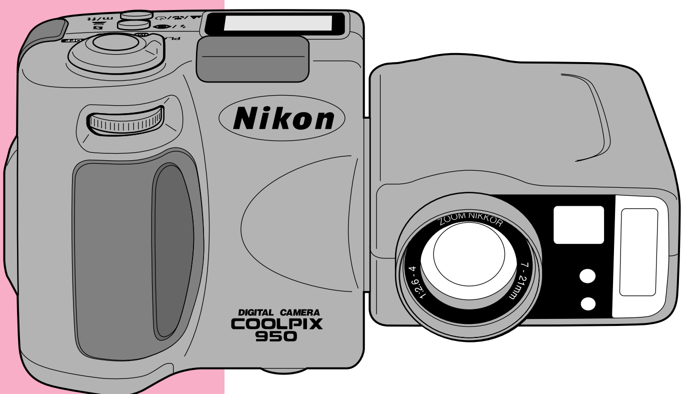
Nikon

ニコンデジタルカメラE950

COOLPIX950

クールピクス950



J

使用説明書

安全上のご注意

この使用説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他人への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを記載しています。
内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表記の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること(必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠警　告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止　すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る　すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

⚠警　告（カメラについて）

警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。

禁止

指定の電池または専用ACアダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止

ACアダプタご使用時に雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注　意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は、幼児の手の届かない所に置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

禁止

長期間使用しない時は電源（電池やACアダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
ACアダプタでご使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。
病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠警　告（アルカリ乾電池・リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、濡らさないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警　告（アルカリ乾電池・リチウム電池について）

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池を取る

使い切った電池はすぐに器具から取り出すこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠危　険（ニッケル水素電池・ニカド電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり保管したりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警　告（ニッケル水素電池・ニカド電池について）

警告
使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意
電池は幼児の手の届かない所に置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止
水につけたり、濡らさないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告
変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは使用しないこと
液もれ、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告
充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること
液もれ、発熱の原因となります。

警告
電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズおよびカバーに無理な力を加えたりしないでください。

●レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。

無理に回すと故障の原因になります。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

レンズ面や液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固い物で拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●電池やACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、電池の取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作には、十分注意してください。

●液晶モニタについて

・液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。また記録される画像には影響はありません。

・屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。

・液晶モニタに使用されている専用蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合には当社サービス部門にお問い合わせください。

・液晶モニタ表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。また撮影された画像には影響はありません。

電池の取り扱いについて

●電池使用上のご注意

電池の使用方法を誤ると液漏れにより製品を腐食したり、電池が破裂したりする恐れがあります。次の使用上の注意をお守りください。

・電池を電源として長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますので注意してください。
・＋／－の向きを正しく入れてください。
・電池は同一メーカー、同一タイプの製品を、新旧取り混ぜずにご使用ください。
・必ず指定された電池を使用してください。
・電池をショートさせたり、分解したりしないでください。また、充電式でない電池を充電しないでください。
・使用期限の過ぎた電池は使用しないでください。

●撮影時には液晶モニタをオフにして電池の消耗を防ぐ

撮影する場合に、液晶モニタをオフにしてファインダーのみで撮影することで、電池の消耗を防ぎ、撮影コマ数を増すことができます。

●予備電池を用意する

撮影の際は、新品の予備の電池をご用意ください。特に、海外の地域によっては電池の入手が困難な場合があります。付属の電池は購入時の作動テスト用ですので、寿命が短い場合があります。

●低温時には新しい電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●長時間のご使用について

電池を電源として長時間ご使用になる場合には、ニッケル水素電池等充電式電池のご使用をおすすめします。

はじめに

このたびは、ニコンデジタルカメラCOOLPIX 950（E950）をお買い上げいただき、ありがとうございます。この使用説明書を最後までお読みいただき、十分ご理解のうえ、カメラを末永くご愛用いただくようお願いいたします。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■保証書とユーザー登録カードについて

この製品には保証書とユーザー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客さまへ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等）ついては、補償致しかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

■商標説明

- CompactFlash™(コンパクトフラッシュ）は米SanDisk社の商標です。
- Microsoft® およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBMはInternational Business Machines Corporationの米国における登録商標です。
- Macintoshは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PC-9801, PC-9821は日本電気株式会社の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

デジタルカメラの特性について

きわめて稀なケースとして、表示パネルに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路内部に侵入したことなどが考えられます。
万一このような状態になったときは、電源をOFFにして電池を入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取り外して再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは失われる恐れがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

説明書の使い方

本使用説明書の構成

この使用説明書は、操作しながら自然にCOOLPIX 950をご理解いただくことを目的にして、基本操作から応用操作へと順を追って、下記のように構成されています。

ご使用になる前に	カメラを安全にお使いいただくためのご注意などを説明しています。
撮影前の準備	カメラを使うための準備として、電池やコンパクトフラッシュカードの入れ方、カメラの設定などについて説明しています。
クイックガイド	デジタルカメラを初めてお使いになる方にも簡単に行える撮影と再生の方法を説明してあります。
各機能の詳細	操作ボタン、メニュー機能など各機能の詳細について説明しています。
応用的な使い方	知っておいていただくと便利な機能について説明しています。
接　　続	テレビ、パソコンなどの外部機器との接続方法の概要などを説明しています。
参　　考	別売アクセサリー、警告表示がでたときの対応方法やカメラの仕様などを紹介しています。

■本書の内容については、予告なく変更することがあります。
■本書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社サービス部門までご連絡くださいますようお願いいたします。
■本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。

使われているマークについて

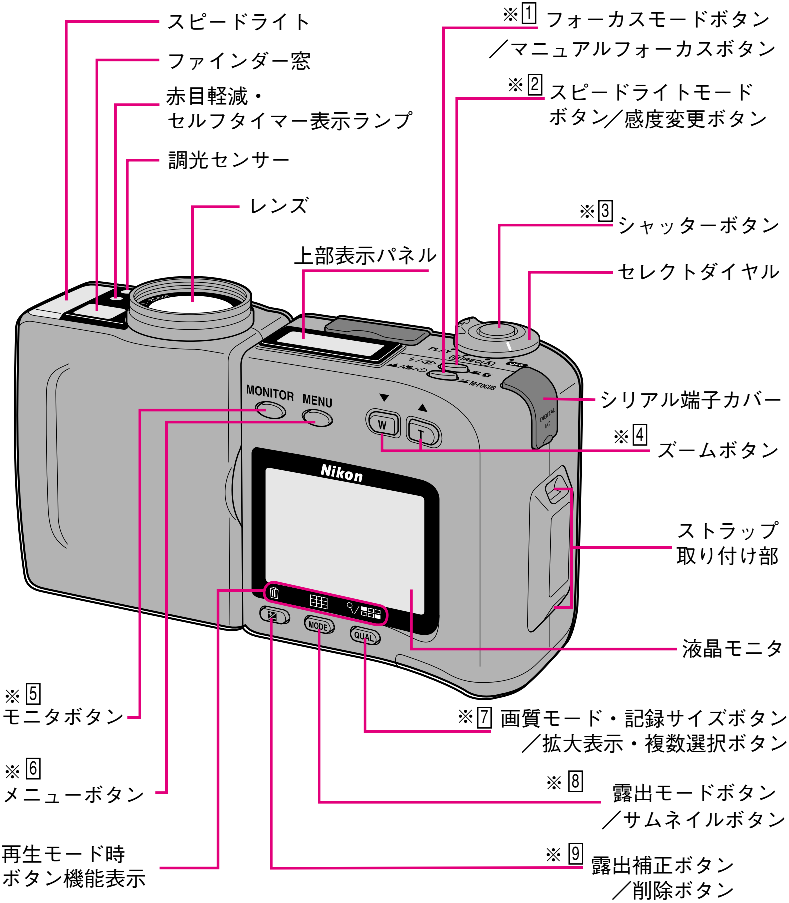
… ——— 補足内容が書いてあります。

☞ P.00 ——— 参照ページが書いてあります。

● ——— 注意していただきたいこと、してはならないこと、これらを守らなかったときに予測される不具合が書いてあります。

目次

各部の名称



操作ボタンの本文中の表記について

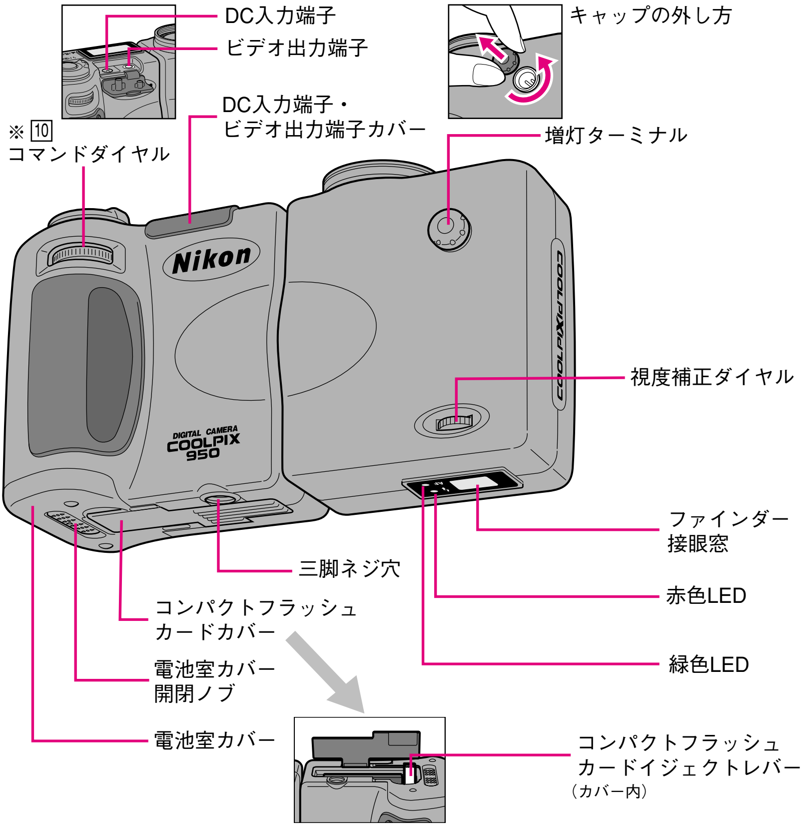
この説明書の本文中では、操作ボタンを以下のように表記します。
それぞれの操作ボタンの位置は、イラスト中の番号（例：※1）を参照してください。

1 M-FOCUS フォーカスモードボタン
マニュアルフォーカスボタン
（コマンドダイヤル併用）

2 スピードライトモードボタン
感度変更ボタン（コマンドダイヤル併用）

3 シャッターボタン

4 ▼ ▲ W T ズームボタン

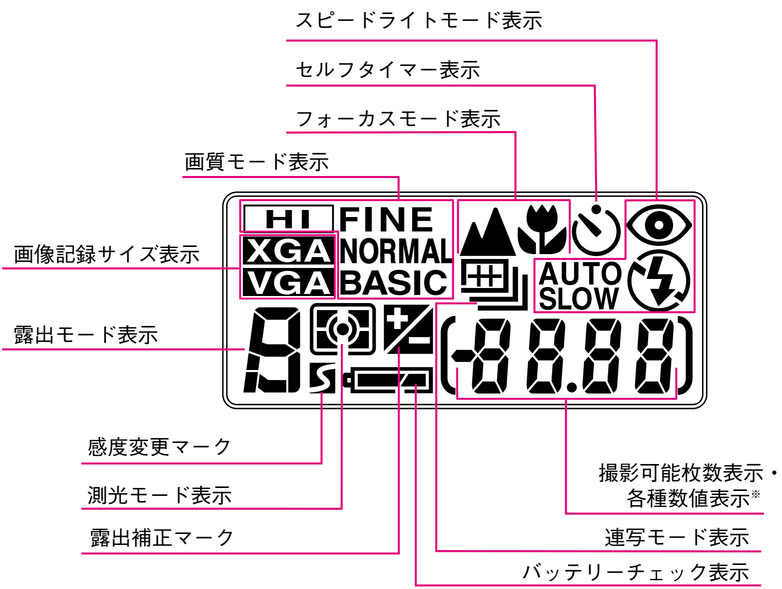


5	MONITOR	モニタボタン	7	QUAL	画質モード・記録サイズボタン（撮影時） 拡大表示・複数選択ボタン（再生時）	9	露出補正ボタン（撮影時） 削除ボタン（再生時）
6	MENU	メニューボタン	8	MODE	露出モードボタン（撮影時） サムネイルボタン（再生時）	10	コマンドダイヤル

各部の名称（つづき）

上部表示パネル

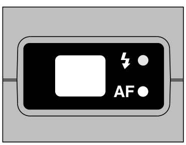
（図は説明のため、全表示を点灯させた状態を示しています）



※使用する機能によって、シャッタースピード（シャッター優先オートモード時）、絞り値（絞り優先オートモード時）、露出補正値（露出補正時）、撮影距離（マニュアルフォーカス時）や、感度など各種数値情報が表示されます。

ファインダー／LED

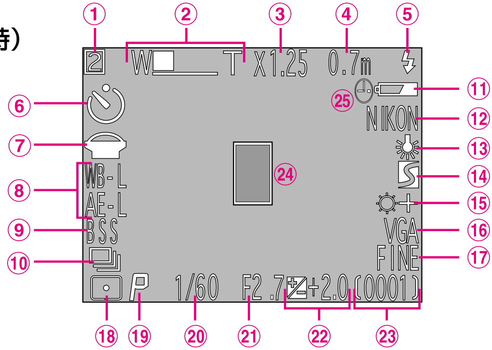




赤色LED　点灯：スピードライト発光予告
⚡○　　点滅：スピードライト充電中表示

緑色LED　点灯：撮影可能表示
AF○　　点滅：オートフォーカス非合焦表示（高速点滅）
撮影画像記録中表示（中速点滅）
電子ズーム中表示（低速点滅）

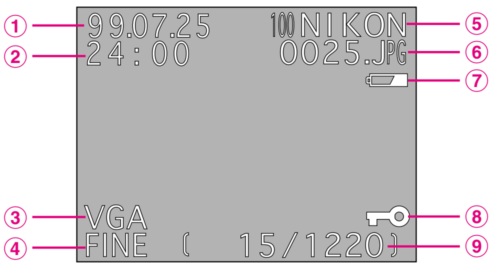
液晶モニタ（撮影モード時）



① カスタムNO．表示 *1
② ズーム表示
③ 電子ズーム倍率表示
④ フォーカスモード／
　マニュアルフォーカス距離表示
⑤ スピードライトモード表示
⑥ セルフタイマー表示
⑦ コンバータ表示
⑧ 露出固定（AEロック／WB［ホワイトバランス］ロック）表示
⑨ ＢＳＳ表示
⑩ 連写モード表示
⑪ バッテリーチェック表示
⑫ フォルダ名表示 *2
⑬ ホワイトバランス表示
⑭ 感度変更モード表示
⑮ 階調補正表示
⑯ 記録サイズ表示
⑰ 画質モード表示
⑱ 測光モード表示
⑲ 露出モード表示
⑳ シャッタースピード表示
㉑ 絞り値表示
㉒ 露出補正マーク／露出補正値表示
㉓ カウンタ（撮影可能枚数）表示
㉔ スポット測光エリア表示
㉕ 時計マーク *3

*1　カスタムNO．を[1]にセットした場合は表示されません。
*2　フォルダ名を「NIKON」と設定した場合は表示されません。
*3　日時設定されていない場合に点滅表示します。

液晶モニタ（再生モード時）



① 撮影日付表示
② 撮影時刻表示
③ 記録サイズ表示
④ 画質モード表示
⑤ フォルダ名表示
⑥ ファイル名表示
⑦ バッテリーチェック表示
⑧ プロテクト表示
⑨ 表示画像コマ番号表示

撮影前の準備

撮影に入る前に準備していただきたいことが書かれています。

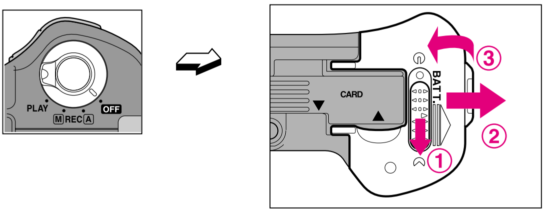
付属品の確認
梱包を開封後、速やかにすべての付属品が入っているかを「梱包物の確認」を参照して確認してください。もし不足しているものがあるようでしたら、お買い求めいただきました販売店にお問い合わせください。

電池の入れ方

電池は単3形電池を4本使用します。使用可能な電池はアルカリ乾電池、リチウム電池、ニカド電池、ニッケル水素電池です。
新たに電池を入れたときや撮影の前などには、電池容量をチェックしてください。

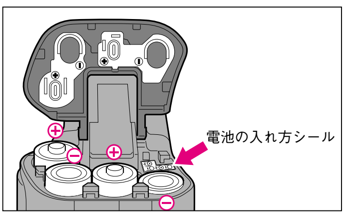
…電池を電源として長時間ご使用になる場合は、ニッケル水素電池等充電式電池のご使用をおすすめします。
- 単3形マンガン乾電池は電池寿命が短く、使用できません。
- 電池を入れる際は、「電池の取り扱いについて」（☞ P.9）の注意事項を必ず守ってください。

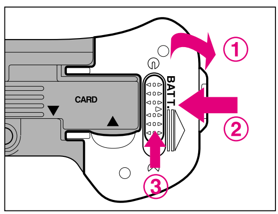
1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、①電池室カバー開閉ノブを矢印の方向にスライドさせ、②電池室カバーを矢印の方向にスライドさせて、③電池室カバーを開ける。



- 電池室カバーを開けるときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

2 ⊕ ⊖ の指示に従って電池を入れ、電池室カバーを閉める。



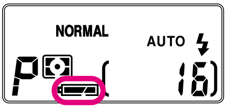


- ⊕ ⊖ を間違えると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- カメラの使用直後には電池が熱くなっていることがありますので、電池を取り出す場合にはカメラの電源をオフにして電池の温度が下がるのを待ってください。
- 電池を交換する場合は、すべての電池を同時に交換してください。
- 電池は、同一メーカー、同一タイプの電池を、新旧取り混ぜずにご使用ください。
- 電池室カバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
- カメラを三脚や別売増灯ブラケットに取り付けた状態で電池交換はできません。

3 セレクトダイヤルをA-REC、M-REC（撮影モード）またはPLAY（再生モード）のいずれかにセットする。

…カメラの電源が入り、上部表示パネルにバッテリーチェック表示が点灯します。
…液晶モニタのバッテリーチェック表示は、電池容量が少なくなった、または残量がなくなった場合にだけ表示されます。
…液晶モニタ使用時で約60分（新品単3形アルカリ乾電池使用・常温20℃での連続使用時）の撮影が可能です。なお、撮影可能時間は電池の種類によって異なりますので、「連続撮影コマ数の目安」（☞P.113）をご覧ください。
…セレクトダイヤルについては　☞P.28

4 バッテリーチェック表示を確認する。





※液晶モニタのバッテリーチェック表示は、電池容量が十分なときには表示されません。

…バッテリーチェック表示の内容は以下の通りです。

表示	内容	カメラの状態
（点灯）（上部表示パネルのみ）	電池容量は十分です。	通常
（点灯）	電池の残量が少なくなりました。予備の電池を用意してください。	通常※
（点滅）	電池の残量がなくなりました。新しい電池と交換してください。	撮影不可（メニューの操作は可能）

※連写可能枚数等に制限があります。

…電池の残量が全くなくなったときは、上部表示パネルと液晶モニタの表示が全部消灯し、撮影・再生・通信の全機能が停止します。
…電池残量がなくなっても、コンパクトフラッシュカードにいったん記録された画像・撮影データは保持されます。
●バッテーリーチェック表示が 点滅表示の状態でACアダプタを接続しても表示は 点灯に変化しません。セレクトダイヤルを一度OFFにしてから電源を入れてください。
●単3形アルカリ乾電池以外では、バッテリーチェック表示が正常に表示されない場合があります。

コンパクトフラッシュカードのセット

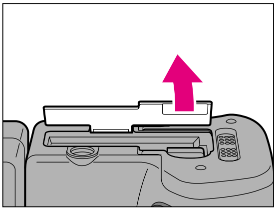
コンパクトフラッシュカードについて

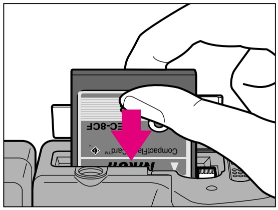
COOLPIX 950は画像データや撮影日時等の撮影データの記録メディアとして、コンパクトフラッシュカードを使用します。コンパクトフラッシュカードの取り扱いの詳細については、コンパクトフラッシュカードの使用説明書をご覧ください。

…コンパクトフラッシュカードの種類により、書き込み、読み出し速度が異なります。
　ニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズをお使いください。
　コンパクトフラッシュカード使用上のご注意については ☞P.102

コンパクトフラッシュカードの装着

1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認して、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、コンパクトフラッシュカードを差し込む。

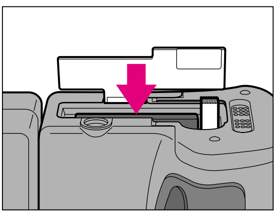


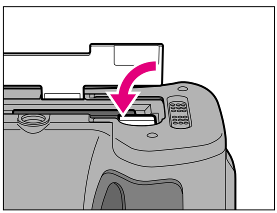


…コンパクトフラッシュカードカバーの▲マーク部から開けてください。
…コンパクトフラッシュカードは、正しい向きにして、スロットの奥まで確実に差し込んでください。

●コンパクトフラッシュカードを装着するときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

2 イジェクトレバーを収納し、コンパクトフラッシュカードカバーを閉める。



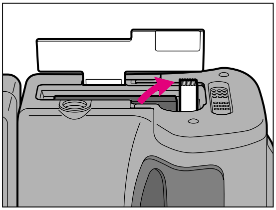


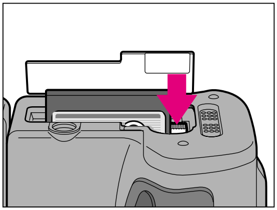
…コンパクトフラッシュカードを装着した後、イジェクトレバーを倒してカバー内に収納し、コンパクトフラッシュカードカバーの▼マーク部を押して最後まで閉めてください。

コンパクトフラッシュカードのセット（つづき）

コンパクトフラッシュカードの取り出し

1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認して、コンパクトフラッシュカードカバーを開け、コンパクトフラッシュカードイジェクトレバーを引きおこし、押し下げる。

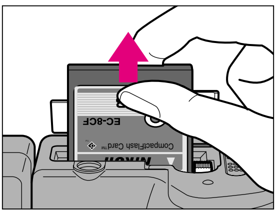


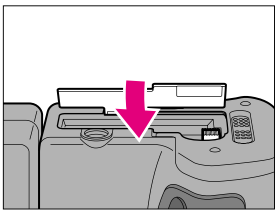


…スロットに装着されたコンパクトフラッシュカードがリリースされ、取り出すことができるようになります。

●カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。

2 コンパクトフラッシュカードを取り出し、カバーを閉める。





…コンパクトフラッシュカードカバーの▼マーク部を押して最後まで閉めてください。

コンパクトフラッシュカードのフォーマット

コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX 950本体で初めて使う場合には、カードのフォーマットが必要です。

●カードのフォーマットをすると、カード内のデータはすべて消去されます。

…カードのフォーマットは、A-REC、M-REC、PLAYの各モードでセットすることができますが、ここではA-RECモードでのセットの方法を説明しています。

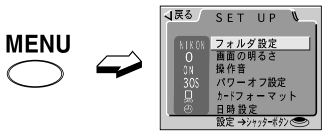
1 コンパクトフラッシュカードをCOOLPIX 950に装着する。

…コンパクトフラッシュカードの装着については ☞ P.21

2 セレクトダイヤルをA-RECにセットする。

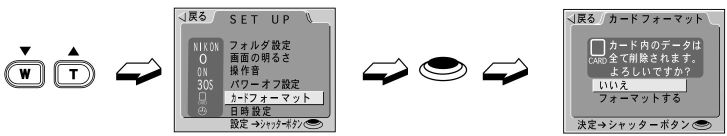
…セレクトダイヤルについては ☞ P.28

3 液晶モニタにSET UPのメニュー設定画面を表示させる。



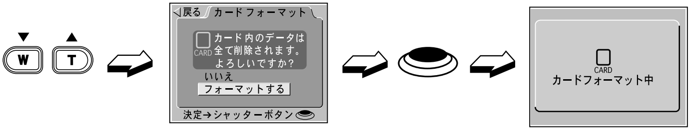
…SET UPメニューについては ☞ P.60

4 メニュー設定画面で「カードフォーマット」を選択する。



…ズームボタンを押して「カードフォーマット」にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すとカードフォーマット画面に切り換わります。

5 「フォーマットする」を選択する。



…ズームボタンで「フォーマットする」にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すとフォーマットがはじまります。

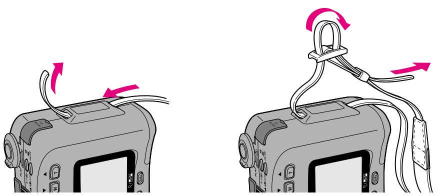
…フォーマットが終了したら上部表示パネルか液晶モニタの表示で撮影可能枚数を確認してください。
撮影可能枚数の確認については　☞P.91

●シャッターボタンを押すとすぐにフォーマットがはじまります。取り消すことはできませんので、注意してください。

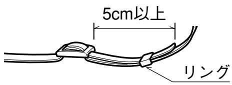
ストラップ・レンズキャップについて

ストラップの取り付け方

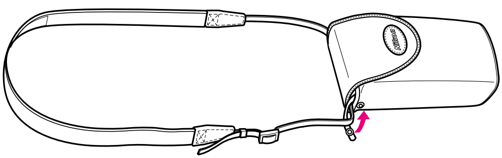
ストラップはイラストのように取り付けてください。



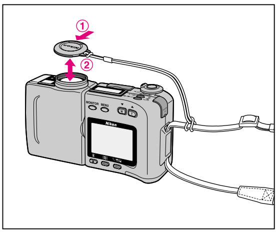
…ストラップの先端は、留め具から5cm以上引き出してリングに通してください。



携帯の際は、本体を付属のソフトケースに入れ、ストラップを外に出しておくと便利です。



レンズキャップの使い方



…レンズキャップはスプリング方式ですので、取り付け・取り外しはレバーを押し込んで行ってください。

…レンズキャップには紛失を防止するための穴が開いています。ひも等を通してストラップに結んでおくと便利です（ひもは付属していません）。

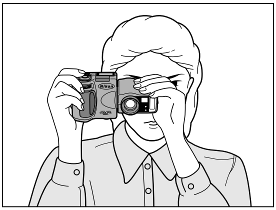
カメラの構え方／シャッターボタンの押し方

カメラの構え方

撮影を行う際は、カメラが動かないように両手でしっかりと保持して構えてください。シャッターをきるときにカメラが動くと、全体がブレた手ブレ写真になります。
…このカメラは、光学ファインダーを使った撮影と、液晶モニタを使った撮影とが行えます。撮影の状況に応じて、使い分けてください。
…レンズ部（レンズ、スピードライト、光学ファインダーなどがある部分）は回転する構造になっています。被写体に応じて、ファインダー・液晶モニタが見やすく、カメラをしっかりと持ちやすい角度に回転させて撮影を行ってください。

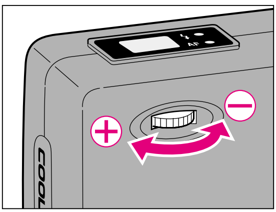
●カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコード、ビデオケーブルなどがかかったり写り込んだりしないように注意してください。
●カメラの操作・撮影中に、可動部や開口部等に指や衣服をはさみこまないよう注意してください。
●撮影レンズや光学ファインダーが汚れていないことを確認してください。レンズの汚れは、画質低下の原因となります。

光学ファインダーを見ながら撮影する場合



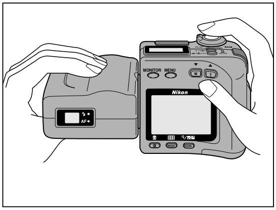
右手でカメラのグリップを、左手でレンズ部を包みこむように持ち、カメラを顔に付けるようにしてファインダーをのぞきます。
●光学ファインダーで太陽を直視しないでください。

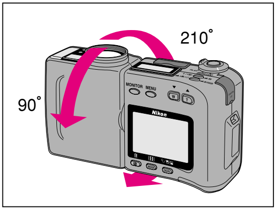
このカメラのファインダーには視度補正ダイヤルが装備されています。ファインダー像が見えにくいときは視度補正を行ってください。



…視度補正ダイヤルを回して、ファインダー内のオートフォーカスフレームが最もシャープに見える位置に調節してください。
…視度補正ダイヤルは、イラストの⊕の方向に回すとDp（ディオプター）が＋側に、⊖の方向に回すと－側になります。

液晶モニタを見ながら撮影する場合





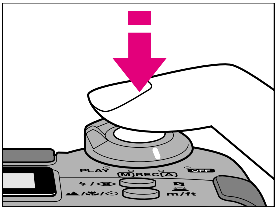
右手でカメラのグリップをしっかりと持ち、左手でレンズ部を支えます。
…レンズ部は液晶モニタのある面を手前にした場合、液晶モニタに対し前方に210°、手前に90°回転できます。右手で液晶モニタを確認しやすい角度に保ち、撮影したいアングルにカメラ部を回転させて撮影を行ってください。
…明るい被写体を写すと、画面に縦に白い尾を引いたような現象（スミア）が発生することがありますが、故障ではありません。また撮影された画像には影響はありません。
●レンズ部を回転させるときは、回転範囲内でゆっくりと行ってください。

対面時の撮影について

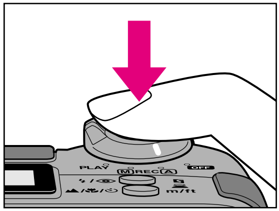
レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。また、ビデオ出力は上下逆に出力されます。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンの半押し



シャッターボタンの全押し



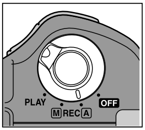
…COOLPIX 950のシャッターボタンは、二段押し機構になっています。シャッターボタンを軽く押して途中で止める動作を「半押し」と呼びます。この半押し操作で撮影準備を行い、半押し状態からさらに深く押し込むと、シャッターがきれます。
…シャッターボタンは一気に押さずに人差し指の腹の部分で軽く半押しした状態から、静かに押し込んでシャッターをきるようにしてください。シャッターボタンを一気に押すと、手ブレの原因となります。

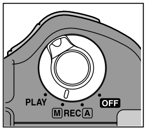
セレクトダイヤルの機能

COOLPIX 950のセレクトダイヤルにはOFF、A-REC、M-REC、PLAYの4つのポジションがあります。
A-REC、M-RECのポジションにセットすると撮影モード、PLAYのポジションにセットすると再生モードになります。OFFにセットすると電源がきれます。

撮影モードのセット

セレクトダイヤルをA-RECまたはM-RECにセットする。





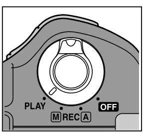
…上部表示パネルが点灯し、カメラは撮影準備動作を行います。約2秒して撮影準備動作が完了すると、液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。

A-REC 各部のセット（露出モード：P、測光モード：マルチ測光、ホワイトバランス：AUTO）をカメラまかせにして簡単に撮影できるフルオートモードです。

M-REC 露出モード、測光モード、ホワイトバランス、階調補正、モノクロモード等のセットによって、特別な意図に沿った撮影が楽しめるモードです。

再生モードのセット

セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…上部表示パネルが点灯し、約2秒後に液晶モニタに再生画像が表示されます。
撮影した画像の再生については ☞P.34

クイックガイド

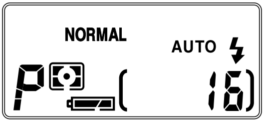
カメラの構え方や、撮影モードをA-REC（フルオート）にして行う簡単な撮影方法と、液晶モニタでの再生方法、削除方法などを説明しています。
初めてデジタルカメラをお使いになる方や、気軽に撮影したい方におすすめします。

セレクトダイヤルをA-REC（フルオート）モードにセットすると、各機能のセットをカメラまかせにして簡単に撮影が行えます。
…A-REC時にも選択できる機能の設定状態は、下記の出荷時の設定を基準に説明しています。

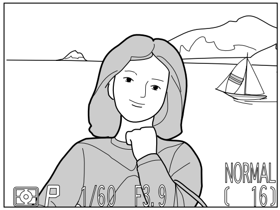
記録サイズ・画質モード	➫	フルサイズ・NORMAL
フォーカスモード	➫	コンティニュアスAF
スピードライトモード	➫	自動発光
露出補正	➫	0.0（補正なし）
液晶モニタ	➫	ON※

※液晶モニタがOFFのときには、シングルAFになります。
各モードの設定については、☞ P.37～42を参照してください。

1 セレクトダイヤルをA-RECにセットする。



上部表示パネル



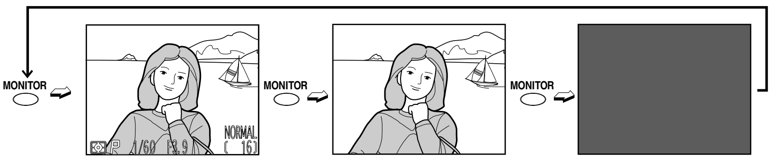
液晶モニタ（撮影モニタ画面）

…カメラの電源がオンになり、上部表示パネルが点灯します。カメラは約2秒間撮影準備動作を行い、完了するとピッと1回操作音が鳴って、液晶モニタに撮影モニタ画面が表示されます。上部表示パネルと液晶モニタには、各機能のセット状態と撮影可能枚数が表示されます。

モニタボタンの使い方

液晶モニタ上部のモニタボタンを押すと、液晶モニタの点灯状態を変更できます。

A-REC時



全情報付き点灯　　最小情報付き点灯　　消　灯

液晶モニタ上部のモニタボタンを押すと、液晶モニタの点灯状態を変更できます。

…モニタボタンを押すごとに液晶モニタは、全情報付き点灯→最小情報付き点灯→消灯→全情報付き点灯→…　と切り換わります。

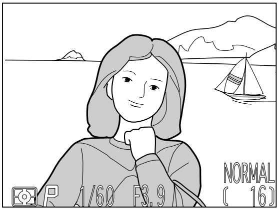
…最小情報付き点灯の場合、撮影モードの撮影画像記録時には（WAITマーク）、（クイックデリートマーク）、（静止画延長マーク）が表示され、再生モードの表示画像のコマ送り時には（WAITマーク）が表示されます。

…全情報付き点灯を選択していても、レンズ部を対面撮影状態にしているときには最小情報付き点灯になります。

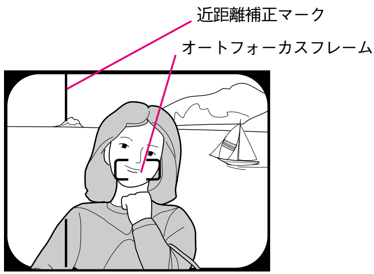
…液晶モニタ消灯時には、シングルAFとなります。

シングルAFについては　☞P.40

2 構図を決める。

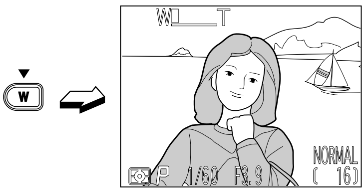


液晶モニタ

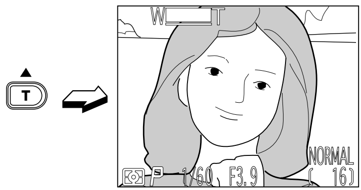


ファインダー

…写したいものにレンズを向け、液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。
…ファインダーを見ながら構図を決めるときは、ピントを合わせたいものにオートフォーカスフレームを重ねて構図を決めます。
● ファインダーを使用して撮影する場合は、ファインダー視野と実際に記録される範囲にズレ（パララックス）が生じます。特に、外光式ファインダーの特性上、被写体の距離が近い場合にはファインダーの視野と撮影範囲にズレが生じ、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。おおむね90cm以下の距離では、これを防ぐために液晶モニタの使用をおすすめします。ファインダーの近距離補正マークは約60cmの距離に対応する範囲を示しています。
● 電子ズームでの撮影の場合には、ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで確認してください。



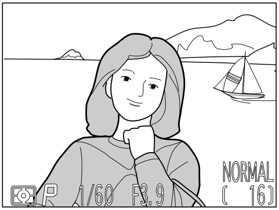
ワイド（広角）時画面



テレ（望遠）時画面

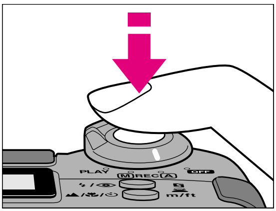
…ズームボタンを押すとズーミングが行われ、被写体の写る大きさや、写る範囲の広さを変えることができます。ズームボタンのWを押すと広角側に、Tを押すと望遠側にズーミングします。
…液晶モニタを使用しての撮影時には、最も望遠側になっているときにさらに2秒以上ズームボタンのTを押し続けると、電子ズームが働き、より望遠効果のある撮影ができます。

3 ピントが合っていることを確認する。

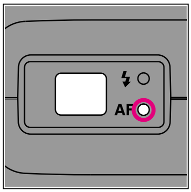


液晶モニタ

…コンティニュアスAFでは、常時オートフォーカスが行われます。ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、液晶モニタでピントが合っていることを確認してください。
コンティニュアスAFについては☞P.40

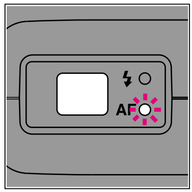


合焦時



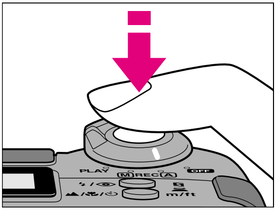
緑色LED（点灯）

非合焦時

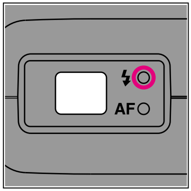


緑色LED（点滅）

…合焦状態は、シャッターボタンの半押しでも確認できます。シャッターボタンを半押ししたときピントが合っていると緑色LEDが点灯し、ピントが合っていないときは点滅します。
…シャッターボタンを半押しすると、その後にピントが合った状態で固定（AFロック）され、緑色LEDが点灯します。シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えれば、フォーカスロック撮影が行えます。
●フォーカスロック撮影時は、構図を変える際に被写体までの距離が変わらないように注意してください。

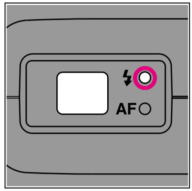


被写体が明るい場合



赤色LED（消灯）

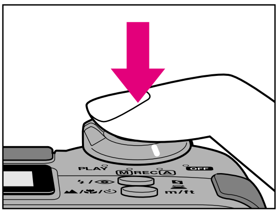
被写体が暗い場合

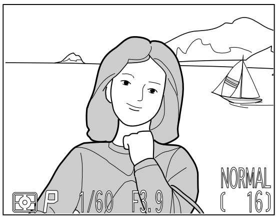


赤色LED（点灯）

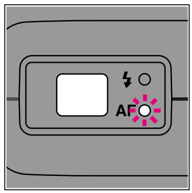
…シャッターボタンを半押しすると露出の固定も行われます。露出固定の時点で被写体の明暗によってスピードライト発光の有無を赤色LEDの状態で確認できます。被写体が明るい場合は赤色LEDは消灯しています。被写体が暗い場合は赤色LEDは点灯してスピードライトが発光する予告をします。
AF/AEロックについては ☞P.88

4 ゆっくりとシャッターボタンを押し込む。





液晶モニタ



緑色LED（点滅）

…シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれ、操作音がピッと1回鳴り、撮影が実行されます。被写体が暗い場合にはスピードライトが自動的に発光します。
操作音については ☞P.63
…撮影が完了すると、ファインダー横の緑色LEDが点滅を開始し、同時に液晶モニタには撮影画像の静止画が画像記録中を示す ⌛（WAITマーク）、🗑（クイックデリートマーク）、▯▯（静止画延長マーク）とともに表示されます。
クイックデリート、静止画延長については ☞P.90
…緑色LEDの点滅と液晶モニタの撮影画像表示が終わると、カウンタの撮影可能枚数表示が1コマ少なくなり、次の撮影が行えます。
●緑色LEDの点滅中は、コンパクトフラッシュカードへの書き込みを行っています。このときカードを抜いたり、電池や専用ACアダプタを抜かないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影済みのデータがこわれる場合があります。

5 セレクトダイヤルをOFFにセットする。

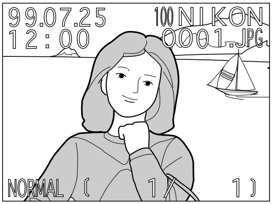
…液晶モニタ、上部表示パネルの表示が消灯し、電源がオフになります。
…電源をオフにしても、コンパクトフラッシュカードに保存された画像は消去されません。

撮影した画像の再生

1コマ再生モード

撮影した画像をすぐに液晶モニタで再生して見ることができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…液晶モニタに⌛（WAITマーク）が表示され、1コマ再生画面が表示されます。1コマ再生画面には最後に記録されたコマの画像と、フォルダ名、ファイル名、撮影日付表示、撮影時刻表示、記録サイズ表示、撮影画質モード表示、表示画像コマ番号表示、およびバッテリーチェック表示が表示されます。

…コマンドダイヤルを回すことにより、画像データについてさらに詳細な情報を確認することができます。
再生画像の情報確認については☞P.92

…ズームボタンのW（▼）を押すと1コマ前の画像が表示され、W（▼）を押すごとに撮影された逆の順序で画像を表示していきます。ズームボタンのT（▲）を押すと1コマ後の画像が表示され、T（▲）を押すごとに撮影された順序で画像が表示されます。

…最後に撮影された画像が表示されているときにズームボタンのT（▲）を1回押すと先頭画像を表示します。先頭画像の表示時にW（▼）を1回押すと最終画像を表示します。

…撮影した画像がない場合は、液晶モニタに「撮影画像がありません」と表示されます。

…HIモード（フルサイズ、圧縮なし）、フルサイズのFINEまたはNORMALモードで撮影した画像を表示する際には、画像確認のためのプレビュー画像が表示された後いったん画面が消え、実際の撮影画像が表示されます。

撮影した画像の削除

1コマ再生モード時に削除ボタンを押すと、画像を確認しながら1画像ずつ削除することができます。
…再生メニューの「削除」メニューを選択すると、全画面または複数選択画面の削除が行えます。
メニュー選択による削除については☞ P.77

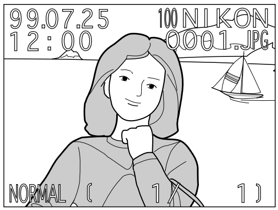
1コマ再生モードでの削除

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

…液晶モニタに ⌛ (WAITマーク) が表示された後、最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

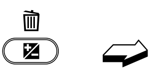
2 削除する画像を表示させる。

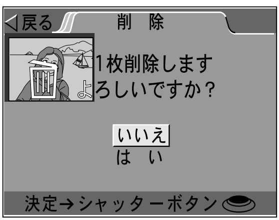




…ズームボタンを押して削除する画像を液晶モニタに表示させます。

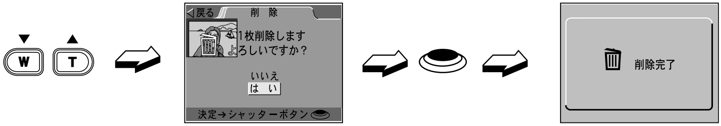
3 削除ボタンを押す。





…削除確認画面が表示されます。
…画面左上には、削除の対象となる画像が表示されています。

4 ズームボタンで「はい」を選択し、シャッターボタンを押す。



…画像の削除が実行され、削除完了画面が表示された後、次の画像が1コマ再生されます。

…削除を行わない場合は、メニューボタンを押すか、「いいえ」または「戻る」を選択してシャッターボタンを押すと選択画像の1コマ再生画面に戻ります。

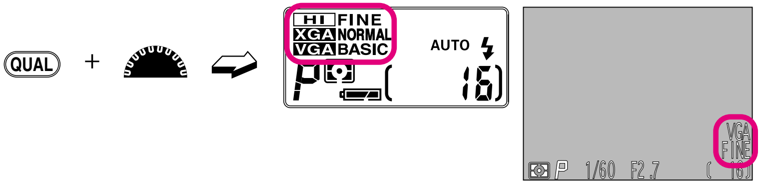
各機能の詳細

COOLPIX950の2種類の撮影モード（A-RECとM-REC）、および再生モード（PLAY）でのカメラの操作方法とメニューの設定方法を説明しています。

撮影モードには、フルオートで撮影を行えるA-RECと、撮影意図や状況に応じてカメラの機能を詳細にコントロールできるM-RECがあります。A-RECでご使用の場合はP.38～P.42、P.60～P.65、M-RECでご使用の場合はP.38～68をお読みください。
再生モード（PLAY）には、撮影した画像を再生・管理するためのさまざまな機能があります。
ここでは、各モードでのカメラの操作方法とメニューのセット方法を以下のページで説明してあります。

記録サイズ・画質モードのセット

COOLPIX950では、4種類の画質モード（圧縮の比率）と、3種類の記録サイズ（画像の大きさ）を組み合わせて選択することができます。また、フルサイズの画像を圧縮せずに記録するHIモードも備えています。画像の使用目的や、記録枚数、ファイルサイズなどに応じて選択してください。



…A-REC/M-REC時に、画質モードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回し、セットしたい記録サイズ・画質モード表示を上部表示パネル・液晶モニタに表示させます。

上部表示パネルの表示

フルサイズ（1600×1200ピクセル） ► HI（M-REC時のみ） ←→ FINE ←→ NORMAL ←→ BASIC

XGAサイズ（1024×768ピクセル） ► ←→ XGA FINE ←→ XGA NORMAL ←→ XGA BASIC

VGAサイズ（640×480ピクセル） ► ←→ VGA FINE ←→ VGA NORMAL ←→ VGA BASIC

記録サイズ

（アイコン表示なし）	フルサイズ	画像を1600×1200ピクセルで記録します。
XGA	XGAサイズ	画像を1024×768ピクセルで記録します。
VGA	VGAサイズ	画像を640×480ピクセルで記録します。

画質モード

HI	HIモード	画像を圧縮せずに保存します（フルサイズ、M-REC時のみ）。
FINE	FINEモード	画像を約1/4に圧縮して記録します。
NORMAL	NORMALモード	画像を約1/8に圧縮して記録します。
BASIC	BASICモード	画像を約1/16に圧縮して記録します。

…撮影可能枚数の目安は以下の通りです（8MBコンパクトフラッシュカード使用時）。

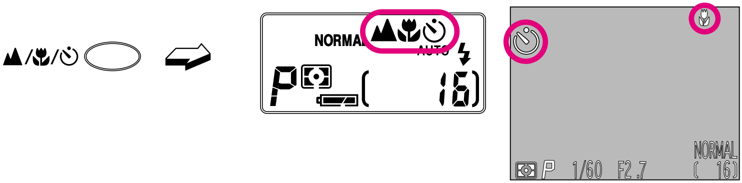
画質モード	フルサイズ画像	XGAモード	VGAモード
FINE	8枚	19枚	50枚
NORMAL	16枚	39枚	100枚
BASIC	32枚	78枚	200枚
HI	1枚	―	―

…電源をオンにするとセットされる記録サイズ・画質モードは、前回電源オフ時にセットされていた組み合わせとなります。

フォーカスモードのセット　撮影モード（A-REC/M-REC）

フォーカスモードは、3種類のフォーカスモードとセルフタイマーのオン・オフが選択できます。

…M-REC時には、あらかじめ撮影距離をセットして撮影を行うマニュアルフォーカスモードを選択することもできます。　マニュアルフォーカスについては　☞P.44



…A-REC/M-REC時にフォーカスモードボタンを押し、希望する下記のフォーカスモード表示・セルフタイマー表示のアイコンを上部表示パネル・液晶モニタに表示させます（通常AFモードは何も表示されません）。

…電源のオン時にセットされるフォーカスモードは、通常AFモードとなります。※1

…セルフタイマー撮影にすると、AFの動作は通常AFモードになります。※2

※1 M-REC時「ボタン設定」メニューにより変更可能。ボタン設定については　☞P.67

※2 M-REC時、マニュアルフォーカスによるセルフタイマー撮影が可能。
マニュアルフォーカスについては　☞P.44

：通常AFモード（アイコンは表示されません）

通常のAF動作を行うモードで、スナップ写真やポートレートなどをはじめとするほとんどの撮影に幅広く対応します。ピントの合う距離範囲は30cm～無限遠です。

：遠景モード

風景や建物など、遠くにある被写体にピントを合わせた撮影が行えます。撮影レンズはピント検出動作を行わず、遠景撮影に適した位置に自動的に駆動され、固定されます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。
スピードライトを使用したいときは「マニュアルフォーカス」（☞P.44）をご覧ください。

：マクロモード

ごく近くのものを撮影するときにセットします。ピントの合う距離範囲はレンズ前2cm（ズームのミドルポジション使用時）～無限遠です。約2cmの近距離撮影が可能なズームポジションでは、液晶モニタのアイコンが黄色表示されます。

：セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影を行います。撮影者ご自身が被写体として写りたいときや、三脚使用時等に手ブレを防止したいときなどに使用してください。タイマー時間は10秒または3秒で、シャッターボタンを1度押すと10秒、2度押すと3秒間タイマーが作動します。セルフタイマー表示ランプが計時開始からシャッターがきれる約1秒前までは点滅し、露光前1秒間は点灯します。

…セルフタイマー計時開始後のキャンセルはセレクトダイヤルを他のモードにセットすることにより行います。

通常AFモード、マクロモード撮影時のAFの動作

［液晶モニタ点灯時］

電源をオンにするとAFを開始し、以後シャッターボタンの操作に関係なくAFを繰り返し、シャッターの半押しでフォーカスロックを行います（C-AF：コンティニュアスAF）。

［液晶モニタ消灯時］

シャッターボタンが半押しされている間のみ測距を行い、測距完了後にフォーカスロックを行います（S-AF：シングルAF）。

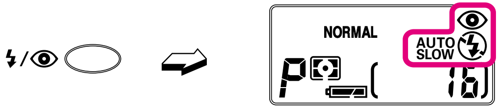
…M-REC時には、撮影SET UPの「モニタ表示」で、AFの動作をC-AF（コンティニュアスAF）またはS-AF（シングルAF）から選択することができます。
モニタ表示については ☞P.66

電子ズームについて

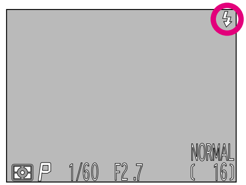
…A-REC時、およびM-REC時で撮影メニュー（M-REC）の「電子ズーム」をＡＵＴＯにセットした状態のときは、ズームボタンによる電子ズーム操作が行えます。
ズームボタンのT（▲）を押して光学ズームを最も望遠側にし、さらに2秒以上押し続けると、自動的に電子ズーム（×1.25）が作動し、さらに押し続けると×2.5まで倍率がアップします。自動的に電子ズームが作動しているときにズームボタンのW（▼）を押すと倍率がダウンし、×1.25モードの次に電子ズームが解除されます。
電子ズームのセットについては　☞P.53

スピードライトモードのセット 撮影モード（A-REC／M-REC）

スピードライトモードは、5種類のモードから選択できます。



※自動発光モードには液晶モニタ表示はありません。



…A-REC/M-REC時にスピードライトモードボタンを押し、希望する下記のスピードライトモード表示を上部表示パネル・液晶モニタに表示させます。

AUTO ⚡ ：自動発光モード（低輝度時）

被写体が暗いときに自動的に発光します。

⚡ ：発光禁止モード

スピードライトの発光を禁止するモードです。夕景や夜景などの雰囲気を生かした撮影を行いたいときなどに使用してください。

…フォーカスモードを遠景モードにセットしたときには、スピードライトモードは自動的に発光禁止モードにセットされます。フォーカスモードについては ☞P.39

●シャッタースピードが遅くなる場合がありますので、手ブレに注意してください。

AUTO ⚡ 👁 ：赤目軽減自動発光モード

スピードライト撮影で人物の目が赤く写ってしまう赤目現象を軽減します。
発光直前に赤目軽減ランプ照射を行い、その後自動発光を行います。
撮影の際に、被写体となる方に赤目軽減ランプの光をしっかり見ていただくと、赤目軽減の効果が上がります。

⚡ ：強制発光モード

被写体の明るさとは無関係にスピードライトを発光させるモードです。

SLOW ⚡ ：スローシンクロモード

夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、近くの人物も背景もきれいに表現できます。

●シャッタースピードが遅くなる場合がありますので、手ブレに注意してください。

…シャッターボタンを半押しした状態でスピードライトが未充電の場合、赤色LEDが点滅し、撮影ができないことを警告します。

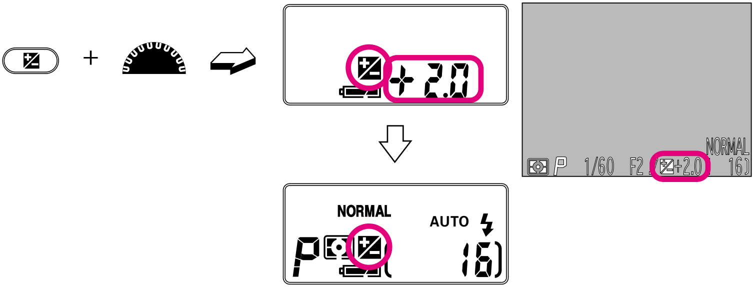
…電源をオンにしたときにセットされるスピードライトモードは、自動発光モードになります。撮影メニュー（M-REC）の「ボタン設定」で、電源をオフにしてもスピードライトモードボタンのセット状態を記憶するようにできます。

…増灯ターミナルに接続された増灯スピードライトも内蔵スピードライト同様に発光が制御されます。また、撮影メニュー（M-REC）の「ボタン設定」で、内蔵スピードライトの発光を禁止することもできます。　ボタン設定については ☞P.67

露出補正値のセット

撮影モード（A-REC/M-REC）

露出補正モードでは、撮影目的や撮影条件に合わせて＋2EVから－2EVまで、1/3EVステップで12段階の露出補正が行えます。



…A-REC/M-REC時に露出補正ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回し、セットする露出補正値を上部表示パネル・液晶モニタに表示させます。

…露出補正時には、上部表示パネルに露出補正マークが表示されます。また、液晶モニタには、露出補正マークと露出補正値が表示されます。

セットできる露出補正値

- 2.0 ⇔ - 1.7 ⇔ - 1.3 ⇔ - 1.0 ⇔ - 0.7 ⇔ - 0.3

⇔ 0 ⇔

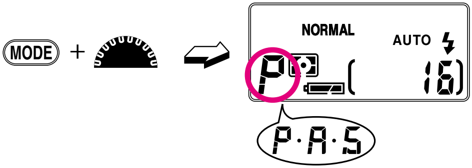
+0.3 ⇔ +0.7 ⇔ +1.0 ⇔ +1.3 ⇔ +1.7⇔ +2.0

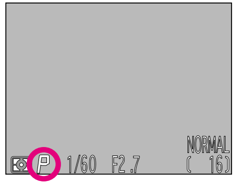
…露出補正をキャンセルするときには、露出補正値を0.0にセットするか、電源をオフにしてください。

…撮影メニュー（M-REC）の「ボタン設定」で、電源をオフにしてもセットしてある露出補正値が記憶され、キャンセルされないようにすることもできます。
ボタン設定については　☞P.67

露出モードのセット

M-REC時には、3種類の露出モードを選択できます。作画意図に合わせて露出モードを選択することによって、多様な表現を楽しむことができます。





M-REC時に、露出モードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してセットしたい露出モード表示を上部表示パネル、液晶モニタに表示させます。

…最も低速のシャッタースピードは、A、Sモード時が8秒、Pモード時が1秒になります。
…A、Sモードを選択しているときに8秒間放置しておくと、コマンドダイヤルで絞り値、シャッタースピードをセットすることができなくなります。再度セットを行う場合は露出モードボタンを押してください。

P ：プログラムオート

被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッタースピードの組み合わせをカメラが自動的に決定します。シャッターをきるだけで簡単に適正露出が得られます。

A ：絞り優先オート

絞り値をセットすると、被写体の明るさに応じて適正露出が得られるシャッタースピードをカメラが自動的に制御します。絞り値は、コマンドダイヤルを回すことにより、3段階セットできます。

…被写体輝度が露出制御範囲を超えている状態でシャッターボタンを半押しすると、上部表示パネルと液晶モニタにセットした絞り値が点滅表示されます。点滅表示する場合は、設定を変更してください。

S ：シャッター優先オート

シャッタースピードをセットすると、被写体の明るさに応じて適正露出が得られる絞り値をカメラが自動的に制御します。シャッタースピードは、コマンドダイヤルを回すことにより、8秒から1/500秒まで1段ごとにセットできます。

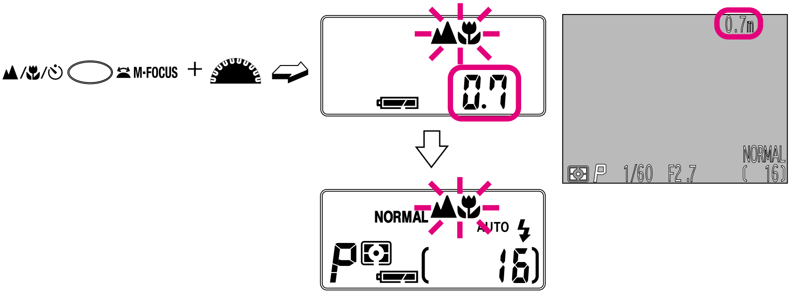
…被写体輝度が露出制御範囲を超えている状態でシャッターボタンを半押しすると、上部表示パネルと液晶モニタにセットしたシャッタースピードが点滅表示されます。点滅表示する場合は、設定を変更してください。

● 感度変更モード時は、シャッター優先オートは選択できません。
感度変更モードについては ☞P.45

マニュアルフォーカスのセット　撮影モード（M-REC）

M-REC時には、マニュアルフォーカスで撮影距離をセットして撮影を行うことができます。マニュアルフォーカスは、被写体との撮影距離をあらかじめ想定して撮影を行う場合や、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影する場合などに便利です。

オートフォーカスが苦手な被写体の撮影については　☞P.89



…M-REC時にフォーカスモードボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すとマニュアルフォーカスでの撮影となり、上部表示パネルに▲✿ マークが点滅表示されます。フォーカスモードボタンを押したまま、コマンドダイヤルを回して撮影距離をセットしてください。

…撮影距離はレンズ前から被写体までの距離です。

…撮影距離のセット中は、上部表示パネルと液晶モニタに撮影距離が表示されます。セットできる撮影距離は、InF（無限遠）、10m、3m、1.5m、1m、0.7m、0.5m、0.3m、0.2m、0.1mの10段階です。

…マニュアルフォーカスではスピードライト撮影が可能です。

…セットしたい撮影距離が表示された状態でフォーカスモードボタンとコマンドダイヤルから指を離すと距離がセットされます。マニュアルフォーカスの距離がセットされると、上部表示パネルの▲✿マークは継続して点滅表示されます。

…セットした撮影距離を上部表示パネルで確認するときは、シャッターボタンを半押ししてください。

…マニュアルフォーカス撮影をキャンセルする場合は、フォーカスモードボタンを1度押します。キャンセル後はマニュアルフォーカスをセットした直前のフォーカスモードに戻ります。

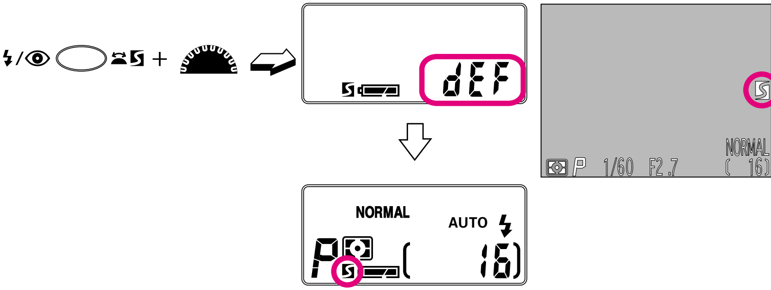
● ズームをワイド端にセットすると、撮影距離の0.1mではピントが合わない場合があります。

● コンバータ使用時は、距離表示とピントの合う距離が異なります。

感度変更モードのセット

撮影モード（M-REC）

COOLPIX950の標準時の感度はISO約80相当ですが、感度変更モードでは、標準よりも撮影感度を高くセットすることができ、暗いところでの撮影でも被写体を明るく撮影することができます。撮影感度は、標準（dEF）を含む４種類がセットできます。撮影した被写体の明るさを見ながら撮影状況に合った感度をセットしてください。



…M-REC時に感度変更ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回し、セットする下記の感度設定表示を上部表示パネルに表示させます。
…感度変更モード時には、上部表示パネルには感度変更マークが表示されます。また、液晶モニタには、感度変更モードを示すマークが表示されます。

dEF　：標準感度
　標準感度（ISO約80相当）にセットします

100　：ISO100相当

+1.0　：標準感度より1段高い感度に変更します

+2.0　：標準感度より2段高い感度に変更します

…感度変更はM-REC時のみ有効です。感度のセット後にセレクトダイヤルをA-RECに合わせた場合、セットした感度は無効になり、標準感度での撮影となります。セレクトダイヤルを再びM-RECにセットすると、セットした感度に復帰します。
…セットした感度を確認するときには、感度変更ボタンを押しながらコマンドダイヤルを1クリック回してください。上部表示パネルに設定感度が表示されます。
…感度変更モードをキャンセルする場合は、dEF（標準）にセットしてください。
…暗い場所や動きの速い被写体の撮影以外はdEF（標準）で撮影することをおすすめします。

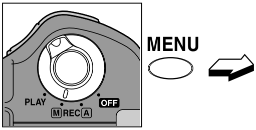
● 「100」、「+1.0」、「+2.0」はdEF（標準）に比べて、多少ザラついた画像になる場合があります。
● 感度変更モード時は、シャッター優先オートは選択できません。
　シャッター優先オートについては ☞P.43

撮影メニュー項目のセット

M-REC時には、撮影メニューによって露出やホワイトバランスなどをより詳細にコントロールしたり、モノクロ撮影、連写、電子ズーム、コンバーターなどの撮影条件を設定して撮影を行うことができます。

撮影メニューの呼び出し

M-REC時にメニューボタンを押すと、液晶モニタにメニュー画面が表示されます。メニュー画面は、14のメニュー項目を2画面に分けて表示します。





A	ホワイトバランス	P.48
	測光方式	P.49
S	連写	P.50
0	階調補正	P.52
□	BSS	P.53
AUTO	電子ズーム	P.53
□	モノクロ	P.54

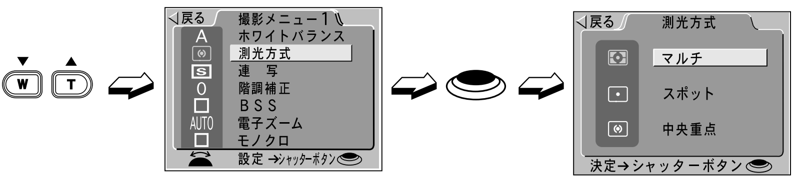


NIKON	フォルダ設定	P.55
□	コンバータ	P.56
□	露出固定	P.57
1	カスタムＮＯ.	P.58
CARD	カードフォーマット	P.58
C	ユーザー設定クリア	P.59
▽	SET UP	P.60

…（コマンドダイヤル記号）が付いている項目は、撮影メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって機能をセットすることもできます。ただし、カスタムＮＯ．は、記憶させたメニュー設定の組み合わせの呼び出しのみ行え、記憶させることはできません。
コマンドダイヤルによるセットについては ☞P.47

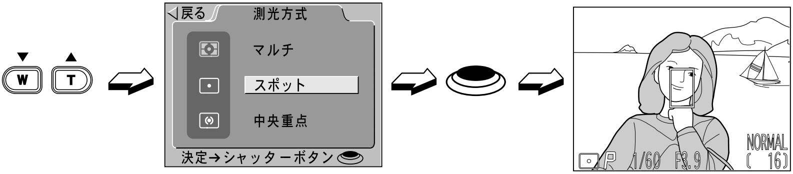
撮影メニュー項目の選択

1 メニュー項目を選択する。



…ズームボタンを押してメニュー項目にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、各項目ごとに機能をセットする画面に移行します。

2 メニュー項目を決定する。

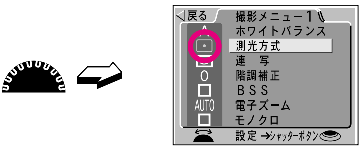


…ズームボタンを押してセットする項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと決定し、メニュー画面から通常の画面に移行します。

コマンドダイヤルによるセット

ズームボタンでセットしたい項目にカーソルを合わせたとき、液晶モニタ左下にが表示される項目では、セット画面に移行することなく、コマンドダイヤルの操作によって機能をセットすることもできます。

1 メニュー項目左側のアイコンをセットしたい状態にする。



…アイコンの表す意味については、各メニュー項目の説明を参照してください。

2 メニュー機能を決定する。

…メニューボタンを押すとメニュー機能が決定し、メニュー画面から通常の画面に移行します。

撮影メニュー項目のセット

ホワイトバランス

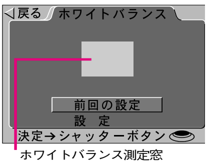
撮影状況に応じて、適応するホワイトバランスにセットします。ほとんどの場合はオートで撮影できますが、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合にはセットしてください。



［セット内容］

A	オート	：ホワイトバランスを自動で調整します
	プリセット	：プリセット設定画面の表示部の画像にホワイトバランスをセットします
	太陽光	：晴れの日の撮影に適しています
	電球	：白熱電球下での撮影に適しています
	蛍光灯	：蛍光灯下での撮影に適しています
	曇天	：曇りの日の撮影に適しています
	スピードライト	：スピードライト撮影に適しています

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。
…「プリセット」を選択すると、ズームレンズが動作して、プリセットホワイトバランス設定画面に移行します。



プリセットホワイトバランス設定画面
［セット内容］
前回の設定　：前回の設定値にする
設定　：新規設定

…ズームボタンで「設定」を選択して、撮影する照明下で白い被写体をホワイトバランス測定窓に映してシャッターボタンを全押しすると、ホワイトバランスがプリセットされます。プリセット中にはシャッターがきれる音（操作音含む）とズームレンズが動作しますが、画像は記録されません。
…ズームボタンで「前回の設定」を選択してシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値が呼び出されてセットされます。前回の設定値の呼び出し中にはズームレンズが動作しますが、画像は記録されません。

…オート以外にセットした場合、セット内容に対応するホワイトバランス表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。



ホワイトバランスについて

人間の目には、照明する光が変化しても、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラ等では、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランス調整を行ってはじめて、白い被写体は白に見えます。この調整を、ホワイトバランスを合わせるといいます。

プリセットホワイトバランスについて

カクテル照明や高演色蛍光灯による照明下で、マニュアルでホワイトバランスをセットするときに便利です。

- 撮影する照明下でプリセット画面にし、白い被写体を撮影してホワイトバランスをセットします。
- カメラは撮影した被写体をもとにホワイトバランスをセットし、記憶します。

測光方式

測光方式をマルチ測光、スポット測光、中央部重点測光から選択します。



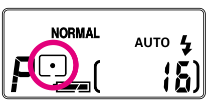
［セット内容］

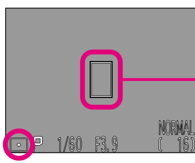
	マルチ	：マルチ測光を選択します
	スポット	：スポット測光を選択します
	中央部重点	：中央部重点測光を選択します

…ズームボタンで選択し､シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。
…各測光方式の特徴は以下の通りです。

- **マルチ測光：**
  CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定します。様々なシーンで正確な露出が得られます。通常の撮影においては、マルチ測光による撮影をおすすめします。
- **スポット測光：**
  撮影画面中央部、全体の約1/32の領域のみを測光して露出値を決定します。測光範囲は、撮影時に液晶モニタ中央部に表示されます。逆光やコントラストの激しいときなど、撮影画面の一部分の露出を基準に撮影したいときに適しています。
- **中央部重点測光：**
  撮影画面の中央部、全体の約1/4の領域に80%のウエイトを置いて測光し、露出値を決定します。作画意図に応じて中央部の露出値を基準に撮影したい場合に適しています。

…各測光方式を表す測光モード表示が上部表示パネルと液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。

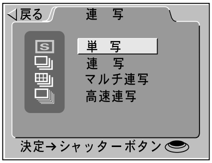




スポット測光エリア表示

連　写

撮影方式を単写、連写、マルチ連写、高速連写から選択します。



［セット内容］

単写	：	1コマ撮影を選択します
連写	：	連写を選択します
マルチ連写	：	マルチ連写を選択します
高速連写	：	高速連写を選択します

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。

・**単写：**
シャッターボタンを全押しすると、1枚撮影を行います。そのままシャッターボタンを押したままの状態にしても、次のコマの撮影は行われません。

・**連写：**
・シャッターボタンを全押しし続けることにより、撮影動作を繰り返します。
・HIを除くすべての画質モードで撮影が可能です。

・**マルチ連写：**
・シャッターボタンが全押しされると、16枚撮影を行います。撮影した16枚の画像は、1つの画像ファイルに保存されます。
・画像の記録順序は、画面の1段目最左コマから右へ4枚→2段目左から右へ4枚→3段目左から右へ→4段目左から最右コマ（最終コマ）となります。

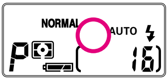
・**高速連写：**
・シャッターボタンを全押しし続けることにより、撮影動作を高速で繰り返します。
・画質モードはNORMAL、画像サイズはVGAに固定されます。

…各連写モードでは、AF、AE、オートホワイトバランスは、それぞれ撮影1枚目の条件に固定され、内蔵スピードライトは発光禁止となります（増灯スピードライトは発光可能です：別売りの増灯ブラケットSK-E900が必要です）。

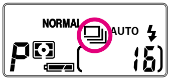
●連写、マルチ連写、高速連写の場合はスピードライトモードの設定は維持されますが、内蔵スピードライトは発光しません。この状態で連写すると被写体が暗いときには露出がアンダーな画像が記録される場合がありますので、増灯スピードライトを使用しないときにはスピードライトモードを発光禁止にセットしてください。

…連写、高速連写では、撮影された画像はいったんカメラ内部のメモリ上に記録され、連写終了後にコンパクトフラッシュカードに保存されます。コンパクトフラッシュカードへの記録が終了するまで、カードをカメラから取り出さないでください。

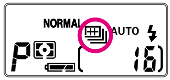
…連写、高速連写、マルチ連写選択時は上部表示パネルと液晶モニタに連写モード表示が表示されます。



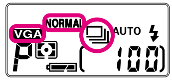
単写時



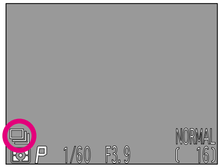
連写時



マルチ連写時



高速連写時



…連写可能枚数は画質モードにより決まります。フルサイズのNORMALモードで、最大10コマです。
…連写速度は次のようになります。

NORMALモード時

画像サイズ	速度	対応コマ数
フルサイズ（1600×1200ピクセル）	1.5コマ／秒	最大10コマ
XGA（1024×768ピクセル）	1.5コマ／秒	最大25コマ
VGA（640×480ピクセル）高速連写	1.5コマ／秒	最大100コマ

階調補正

画像のコントラストと明るさを変化させます。

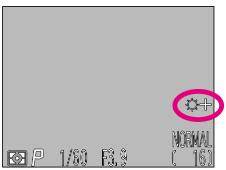


［セット内容］

0	標準	：標準の階調にセットします
◑＋	コントラスト強	：コントラストを強めにします
◑−	コントラスト弱	：コントラストを弱めにします
☼＋	明るい	：明るめにします
☼−	暗い	：暗めにします

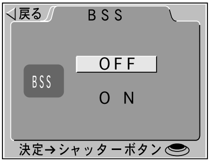
…「コントラスト強」「コントラスト弱」は、モニタやプリンタなどの出力機器のコントラスト（硬調、軟調）や、撮影シーンのコントラスト、あるいは好みに応じて、記録する画像のコントラストを調整するために用います。
…「コントラスト強」を選択すると明暗差や輪郭がはっきりとした画像になります。画像にメリハリをつけたい場合にお使いください。
…「コントラスト弱」を選択するとソフトな感じの画像になります。輝度差の大きい被写体を撮影する場合にお使いください。また、レタッチの素材としても向いています。
…「明るい」「暗い」は、モニタやプリンタなどの出力機器のγ（ガンマ）特性に応じて、記録する画像の明るさを調整する場合に用います。露出補正で画像の明るさを調節するとハイライトやシャドーの階調が失われる場合があるため、出力機器とのマッチングさせるためにはブライトネスを用いた方が良い結果がでます。
…「明るい」を選択すると、画像はハイキーになり、「暗い」を選択するとローキーになります。画像の明るさの好み、およびモニタやプリンタの特性に合わせてお使いください。
●階調補正は撮影時の液晶モニタ画面とビデオ出力には反映されません。

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。
…標準以外の設定を選択した場合、設定内容に対応する階調補正表示が液晶モニタの撮影情報画面に表示されます。



ＢＳＳ

ＢＳＳとは「ベストショットセレクタ」（Best Shot Selector）のことで、最大10コマの連続撮影を行い、最もシャープだと思われる画像をカメラが選んで、その1コマだけをコンパクトフラッシュカードに記録します。マクロ撮影や望遠撮影に適しています。



［セット内容］

ＯＦＦ：ＢＳＳをＯＦＦにします

ＯＮ　：ＢＳＳをＯＮにします

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。

…ＢＳＳをＯＮにした状態でシャッターボタンを押し続けると、連続撮影（最大10コマ）が行われます。撮影した画像のデータはいったんカメラ内部のメモリに格納され、撮影完了後に最もシャープだと思われるコマをカメラが自動的に選択してコンパクトフラッシュカードに記録します。

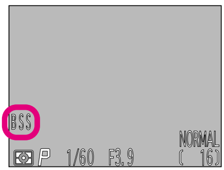
…オートフォーカスの条件、測光値などは1コマ目で決定し、2コマ目以降は1コマ目の撮影データにより撮影を行います。

…ＢＳＳと、連写・マルチ連写・高速連写、および画質HIモードを同時にセットすることはできません。

…ＢＳＳ選択時には、スピードライトの発光が禁止されます。

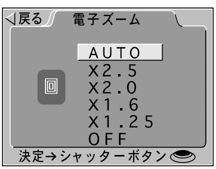
…ＢＳＳ選択時には、液晶モニタ上にＢＳＳ表示が表示されます。

●動きのある被写体を撮影する場合や、連続撮影中にフレーミングを変更した場合には、効果が得られないことがあります。



電子ズーム

電子ズームは、撮影画面の中央部を電子的に拡大する機能で、光学ズームで得られる望遠倍率をさらに大きくした撮影が行えます。ただし、倍率が高くなるにつれ画像は粗くなります。



［セット内容］

ＡＵＴＯ　：テレ端での自動電子ズームにします

×２．５　：倍率×2.5倍の電子ズームにします

×２．０　：倍率×2.0倍の電子ズームにします

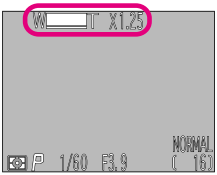
×１．６　：倍率×1.6倍の電子ズームにします

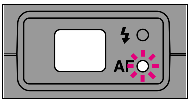
×１．２５：倍率×1.25倍の電子ズームにします

ＯＦＦ　　：電子ズームをＯＦＦにします

電子ズーム（つづき）

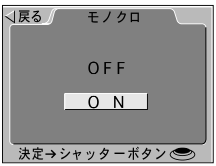
…ズームボタンで選択し､シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります｡
…電子ズームの倍率をセットすると、セットした倍率に応じて液晶モニタの撮影モニタ画面の中央部を拡大表示します。電子ズームセット時にも、ズームボタンによる光学ズーム操作は全域で行えます。
…メニュー画面で倍率をセットした電子ズームの解除は、メニューでAUTOまたはOFFを選択して行います。電源のオフやオートパワーオフによっては解除されません。
…電子ズームをＡＵＴＯにセットすると、ズームボタンによる電子ズーム操作が行えます。ズームボタンのT（▲）を押して光学ズームを最も望遠側にし、さらに2秒以上押し続けると、自動的に電子ズーム（×1.25）が作動し、さらに押し続けると倍率がアップします。自動的に電子ズームが作動したときにズームボタンのW（▼）を押すと倍率がダウンし、×1.25モードの次に電子ズームが解除されます。
…倍率を指定してセットした電子ズームは、M-REC時のみ有効です。A-REC時には電子ズームはＡＵＴＯになります。
…電子ズームは液晶モニタ点灯時のみ有効です。電子ズームセット時に液晶モニタが消灯されると、電子ズームは一時的に解除され、再び液晶モニタが点灯されると電子ズームが作動します。
…電子ズーム時には撮影画面中央部を拡大するため、光学ファインダーで見える範囲と撮影範囲が異なります。液晶モニタで確認して撮影してください。
…電子ズーム作動時は液晶モニタの撮影情報画面上のズーム表示右に電子ズーム倍率が表示され、緑色LEDがゆっくりと点滅します。





モノクロ

モノクロ画像の撮影を行います。



［セット内容］
ＯＦＦ ：モノクロモードをＯＦＦにします
ＯＮ　 ：モノクロモードをＯＮにします

…ズームボタンで選択し､シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります｡
…撮影された画像はモノクロデータで記録し、液晶モニタもモノクロ表示となります。
…画像ファイルのデータ量は通常のカラーモードと同様となります。
…モノクロでは、カラーの場合と比べて高い解像度が得られます。

フォルダ設定

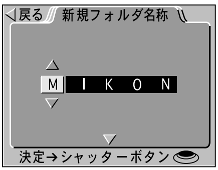
画像を保存するコンパクトフラッシュカード内のフォルダを指定します。撮影した画像は指定されたフォルダに保存されます。



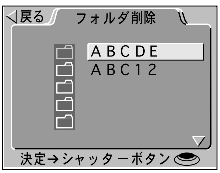
[セット内容]
フォルダ操作　：フォルダ操作画面に移行します
（フォルダ名）：すでに作成してあるフォルダから画像を保存するフォルダを設定します



フォルダ操作画面
[セット内容]
新規作成　　：フォルダを新規に作成します
　　　　　　　フォルダ名称の設定／変更画面に移行します
名称変更　　：フォルダの名称を変更します
　　　　　　　フォルダ名称の設定／変更画面に移行します
フォルダ削除：フォルダ削除画面に移行します



名称設定／変更画面
[セット内容]
- ズームボタン、シャッターボタンを押して、フォルダの名称（英数字5文字）をセットします。
- コマンドダイヤルを操作して変更する文字位置にカーソルを移動します。
- 5文字すべてセットすると、撮影画面に戻ります。



フォルダ削除画面
[セット内容]
- ズームボタンで削除するフォルダを選択し、シャッターボタンで決定します。



フォルダ削除確認画面
[セット内容]
- いいえ　　：フォルダ削除をキャンセルします
- はい　　　：フォルダ削除を実行します

コンバータ

ワイド、テレ、フィッシュアイの各コンバータを使用する撮影に適したカメラのセットを行います。



［セット内容］

ＯＦＦ：コンバータモードをＯＦＦにします
ワイドコンバータ：ワイドコンバータモードにします
テレコンバータ：テレコンバータモードにします
フィッシュアイ1：フィッシュアイコンバータモード1にします。画像が円形に撮影されます。
フィッシュアイ2：フィッシュアイコンバータモード2にします。画像の隅に影が出ることなく撮影されます（対角魚眼）。

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。
…各コンバータモードのセット内容は次のようになります。

・ワイドコンバータモード

焦点距離＝ワイド端（セット後のズームボタン操作は可能）
スピードライト＝発光禁止（内蔵、増灯とも）

・このモードにセット中は、スピードライトモードボタンはロックされます。
・液晶モニタの撮影情報画面にコンバータ表示を表示します。
・ご使用にあたっては、ワイドコンバータWC-E24の使用説明書を参照してください。

・テレコンバータモード

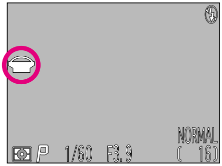
焦点距離＝テレ端（セット後のズームボタン操作は、範囲制限付きで可能）
スピードライト＝発光禁止（内蔵、増灯とも）

・このモードにセット中は、スピードライトモードボタンはロックされます。
・液晶モニタの撮影情報画面にコンバータ表示を表示します。
・ご使用にあたっては、テレコンバータTC-E2の使用説明書を参照してください。

・フィッシュアイコンバータモード

	フィッシュアイ1	フィッシュアイ2
焦点距離	ワイド端（ズームミング不可）	ミドルポイント（ズーミング不可）
オートフォーカス	無限遠に固定	自由
測光モード	中央部重点測光に固定	自由
スピードライト	発光禁止（内蔵、増灯とも）	発光禁止（内蔵、増灯とも）

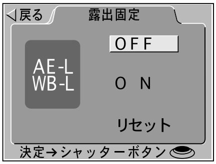
・このモードにセット中は、ズームボタン、フォーカスモードボタン（フィッシュアイ1のみ）、スピードライトモードボタンはロックされます。
・液晶モニタの撮影情報画面にコンバータ表示を表示します。
・ご使用にあたっては、フィッシュアイコンバータFC-E8の使用説明書を参照してください。



コンバータ表示

露出固定

露出固定をセットすると、露出はセット後最初の撮影の制御値に固定されます。コンピュータに画像を取り込んで合成する場合などに便利です。



［セット内容］

ＯＦＦ　　：露出固定をＯＦＦにします

ＯＮ　　　：露出固定をＯＮにします

リセット　：固定された露出を解除し、次の撮影の露出を固定します

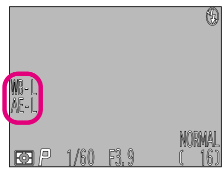
…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。

…露出固定がONのときは、セット後最初の撮影の露出条件にホワイトバランス*、絞り値、シャッタースピードが固定されます。

*オートホワイトバランス時。その他のホワイトバランスがセットされているときは、そのセットが優先されます。　ホワイトバランスのセットについては　☞P.48

…露出固定モードでは、スピードライトは発光禁止モードになります。

…液晶モニタの撮影情報画面にAE-L（AEロック）とWB-L（ホワイトバランスロック）が表示されます。



カスタムNO.

M-REC時のメニュー設定の組み合わせを3とおり記憶させておくことができ、撮影者や撮影状況ごとに、あらかじめ記憶させておいた設定を一括して簡単に呼び出せます。



[セット内容]

1 ～ 3 ：カスタムNO.の選択を行います

…ズームボタンでカスタムNO.を選ぶと、現在そのカスタムNO.が記憶しているセットの組み合わせがアイコン表示されます。カスタムNO.で設定されている項目のアイコンが黄色、設定されていない項目のアイコンは白色で表示されます。

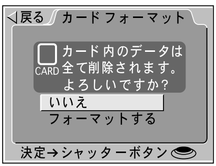
…シャッターボタンを押すとそのNO.に撮影メニューで現在セットしてある内容が記憶されます。

…カスタムNO.2または3が選択されているときは、モニタ画面の左上の部分に選択されているカスタムNO.が表示されます。

…呼び出しは、撮影メニュー画面でコマンドダイヤルの操作によって行う方法と、「カスタムNO.」メニューでズームボタンの操作によって行う方法があります。
コマンドダイヤルによるセットについては ☞P.47

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。



[セット内容]

いいえ ：フォーマットをキャンセルします

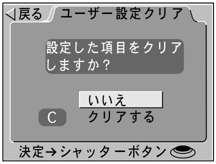
フォーマットする ：カードのフォーマットを行います

…ズームボタンで「フォーマットする」を選択してシャッターボタンを押すとフォーマットがはじまります。フォーマット終了後、撮影モニタ画面に移行します。

●シャッターボタンを押すとすぐにフォーマットがはじまります。取り消すことはできませんので、注意してください。

ユーザー設定クリア

A-REC、M-REC、PLAYの各メニューでセットされた設定をクリアします。



［セット内容］
いいえ　　　：ユーザー設定のクリアは行いません
クリアする：ユーザー設定のクリアを実行します

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされ撮影画面に戻ります。
…「クリアする」を実行するとカメラのセット状態が以下のようにデフォルトの内容になります。

撮影メニューセット項目

ホワイトバランス	オート	露出固定	ＯＦＦ
測光方式	マルチ測光	カスタムＮＯ.	クリアされない*1
連写	単写	画面の明るさ	○
階調補正	標準	モニタ表示	ＯＮ：Ｃ－ＡＦ
ＢＳＳ	ＯＦＦ	ボタン設定	一部クリアされない*2
電子ズーム	ＡＵＴＯ	パワーオフ設定	30s
モノクロ	ＯＦＦ	連番モード	クリアされない
フォルダ設定	NIKON	日時設定	クリアされない
コンバータ	ＯＦＦ	言語（ＬＡＮＧ）	クリアされない

*1選択中のカスタムＮＯ．のみクリアされます。
*2ボタン設定の「MENU操作反転」「m→ft」はクリアされません。

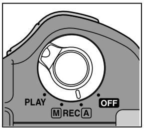
再生メニュー設定項目

フォルダ設定	NIKON	画面の明るさ	○
インターバル	3s	オートパワーオフ	30s

…操作ボタンでセットする項目は、全てセットされた状態が保持されます。

SET UP画面の呼び出し

A-REC時



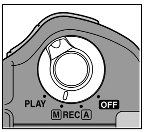
MENU



NIKON	フォルダ設定	P.62
0	画面の明るさ	P.62
ON	操作音	P.63
30S	パワーオフ設定	P.63
CARD	カードフォーマット	P.64
	日時設定	P.64

…A-REC時にメニューボタンを押すと、液晶モニタに撮影SET UPメニュー画面が表示されます。
… が付いている項目は、撮影SET UPメニュー画面で次ページのコマンドダイヤル操作によって機能をセットできます。

M-REC時



MENU







SET UP画面



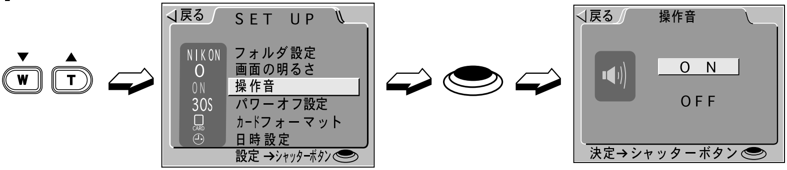


0	画面の明るさ	P.62
ON	操作音	P.63
	モニタ表示	P.66
	ボタン設定	P.67
30S	パワーオフ設定	P.63
	連番モード設定	P.68
	日時設定	P.64
J	言語（LANG）	P.68

…M-RECのメニュー画面の2画面目の最下段のSET UPにカーソルを合わせて選択すると、SET UP項目をセットするSET UP画面に移行します。
… が付いている項目は、撮影SET UPメニュー画面でコマンドダイヤル操作によって機能をセットできます。

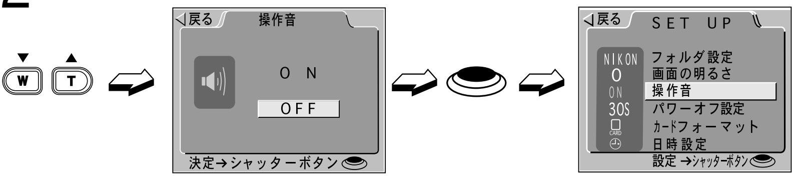
SET UP項目の選択

1 SET UP項目を選択する。



…ズームボタンを押してSET UP項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと、各項目ごとに機能をセットする画面に移行します。

2 SET UP項目を決定する。

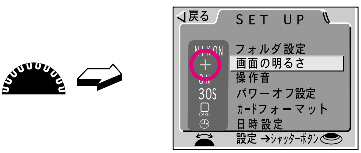


…ズームボタンを押してセットする項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと決定し、メニュー画面からSET UP画面に移行します。
…日時設定はセットする項目数が他のSET UP項目よりも多くなります。詳細については、「日時設定」(☞ P.64) を参照してください。

コマンドダイヤルによるセット

ズームボタンでセットしたい項目にカーソルを合わせたとき、液晶モニタ左下にが表示される項目では、セット画面に移行することなく、コマンドダイヤルの操作によって機能をセットすることもできます。

1 メニュー項目左側のアイコンをセットしたい状態にする。



…アイコンの表す意味については、各メニュー項目の説明を参照してください。

2 メニュー機能を決定する。

…メニューボタンを押すとメニュー機能が決定し、メニュー画面から通常の画面に移行します。

SET UP項目のセット（A-REC/M-REC共通の機能）

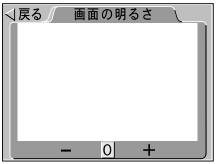
フォルダ設定

画像を保存するコンパクトフラッシュカード内のフォルダを指定します。撮影した画像は指定されたフォルダに保存されます。

…セット方法は、撮影メニューの「フォルダ設定」(☞P.55)をご覧ください。

画面の明るさ

液晶バックライトの明るさを3段階の中から選択します。

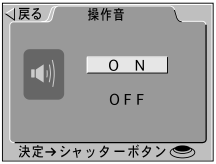


［セット内容］
－　：画面の明るさを暗くします
○　：画面の明るさを中間の明るさにします
＋　：画面の明るさを明るくします

…ズームボタンでいずれかを選択すると、カーソルの移動と連動し、画面の明るさが変わります。シャッターボタンを押すとセットされSET UPのメニューに戻ります。
…セットされた画面の明るさはA-REC、M-REC、PLAYのすべてに適用されます。

操作音

カメラの状態を知らせる操作音のON/OFFをセットします。



［セット内容］
ＯＮ　　：操作音が鳴る状態に設定します
ＯＦＦ　：操作音が鳴らない状態に設定します

…ズームボタンでいずれかを選択し、シャッターボタンを押すとセットされSET UPのメニューに戻ります。
…操作音は、次の操作が行われたときにピッと1回鳴ります。
・撮影モードで電源をオンにしたときの撮影準備動作の完了時
・シャッターボタン全押しによるレリーズ実行時
・次の機能設定の完了時：カードフォーマット、削除、非表示、プロテクト、操作音ON設定
…次の場合には操作音がピピッと二回連続して鳴って警告を知らせます。
・液晶モニタ消灯での撮影時にピントが合わないとき
・コンパクトフラッシュカードが装着されていない、または記録容量が不足しているとき
・電池残量がないとき

パワーオフ設定

A-REC/M-REC時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間をセットします。
オートパワーオフ機能については ☞P.114



［セット内容］
30秒　　：オートパワーオフまで30秒に設定します
1分　　：オートパワーオフまで1分に設定します
5分　　：オートパワーオフまで5分に設定します
30分　　：オートパワーオフまで30分に設定します

…ズームボタンでいずれかを選択し、シャッターボタンを押すとオートパワーオフ開始時間がセットされ、SET UPのメニューに戻ります。
…ACアダプタ接続中はオートパワーオフ開始時間が30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが装着されている場合にはビデオ信号は継続して出力され、液晶モニタは30分後にオフになります。

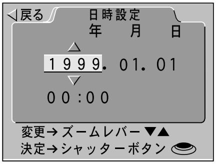
カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

…セット方法は、撮影メニューの「カードフォーマット」（☞P.58）をご覧ください。

日時設定

内蔵時計の年月日と時刻をセットします。出荷時には時計のセットは行われておりませんので、以下の手順にしたがって日時をセットしてください。

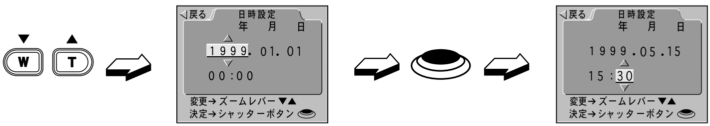


[セット内容]
年・月・日・時・分
日付表示順

…ズームボタンで「日時設定」を選択してシャッターボタンを押すと日時指定の「年」の数値の位置にカーソルが移動し、点滅します。

[順次数値をセットするとき]

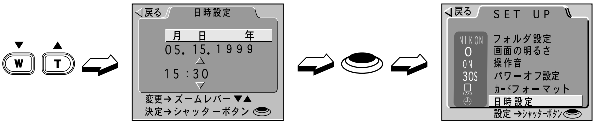
年・月・時・分のセット



…カーソル位置の数値はズームボタンのT（▲）を押すごとに大きくなり、W（▼）を押すごとに小さくなります。数値をセットしてシャッターボタンを押すと、「年」→「月」→「日」→「時」→「分」→「日付表示順」の順で各数値にカーソルが移動し、点滅します。

…「年」の数値は、1970～2037の範囲でセットできます。

日付表示順のセット

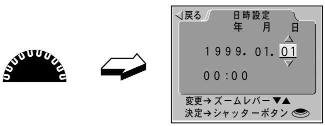


…ズームボタンを押すと、日付表示順は以下の順に移動します。

→ 年　月　日 ←→ 月　日　年 ←→ 日　月　年 ←

…日付表示順を合わせてシャッターボタンを押すと、表示形式が決定し時計の計時を開始します。液晶モニタの画面は、日付設定のメニューからSET UPのメニューに戻ります。

[任意の位置の数値をセットするとき]



…日時設定のメニュー画面でコマンドダイヤルを使って数値を変更したい位置にカーソルを移動させることもできます。コマンドダイヤルを回すと、カーソルが各数値間を以下のように移動します。

→ 年 ←→ 月 ←→ 日 ←→ 時 ←→ 分 ←→ 日付表示順 ←

●「日時設定」を行っても、撮影画面内に写し込むことはできません。

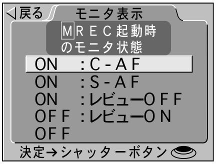
時計のバックアップ用電池について

COOLPIX 950には、時計の作動と、カメラの設定内容の記憶用に充電式リチウム電池が内蔵されています。カメラに単3形電池を入れるか、別売の専用ACアダプタを使って家庭用電源に接続すると充電式電池の充電を開始します。
単3形電池の挿入または専用ACアダプタの接続が10時間継続されますと、約3日間のバックアップが可能となります。ただし、購入初期、および単3形電池を装てんしない状態で長期間未使用だった場合はバックアップ時間が短くなることがあります。
電池の充電は10時間を経過しますと自動的に停止します。単3形電池の入れ直し、専用ACアダプタの抜き差しによって電池の充電は再開されます。
●充電が不十分な場合、一度セットした日付データや、操作ボタン・メニューで設定した内容が失われることがあります。
●記憶されたデータ（日時、カメラの設定内容）が失われた場合は液晶モニタに時計マークが点滅します。
●長期間使用しない場合は単3形電池を抜いて保存し、撮影前に日時を再設定してください。

SET UP項目のセット（M-RECのみの機能）

モニタ表示

M-REC起動時のモニタのON/OFF、およびAFの動作またはレビュー画表示ON/OFFをセットします。



［セット内容］

ON:C--AF	：起動時モニタ表示ON、コンティニュアスAFにします
ON:S-AF	：起動時モニタ表示ON、シングルAFにします
ON:レビューOFF	：起動時モニタ表示ON、レビュー画表示をOFFにセットします
OFF:レビューON	：起動時モニタ表示OFF、レビュー画表示をONにセットします
OFF	：モニタ表示を常時OFFにセットします

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされSET UP画面に戻ります。

…コンティニュアスAFは、シャッターボタンの操作に関係なく常時AFが作動し、シャッターボタンの半押しによってフォーカスロックが行われるモードです。COOLPIX 950の初期状態は、この「ON: C-AF」（モニタON、コンティニュアスAF）です。

…シングルAFは、シャッターボタンが半押しされている間のみ測距を行い、測距完了後にフォーカスロックを行うモードです。通常、液晶モニタON時にはコンティニュアスAFになりますが、「ON: S-AF」を選択すると、液晶モニタON時にシングルAFを選択できるようになります。

…「ON: C-AF」「ON: S-AF」セット時には、撮影終了後、レビュー画（撮影画像の静止表示）が表示されている間にシャッターボタンを半押しすると、撮影準備の完了とともに撮影画面に切り換わり、データの記録中であってもすぐに次の撮影を行えます。

…「ON: レビューOFF」では、撮影終了後レビュー画を表示せず、撮影画面に切り換わった後に、データの記録中であってもすぐに次の撮影を行えます。

…「OFF: レビューON」では、通常は液晶モニタを消灯しておき、撮影後のみレビュー画を表示します。

ボタン設定

M-REC時の各ボタンの操作によるカメラの動作状態をセットします。



［セット内容］

ϟ / ◉ 記憶：スピードライトモードボタンの状態をセレクトダイヤルOFF時にも記憶するようにします

▲ / ✿ 記憶：フォーカスモードボタンの状態をセレクトダイヤルOFF時にも記憶するようにします

MODE記憶：露出モードの状態をセレクトダイヤルOFF時にも記憶するようにします

⊠ 記憶：露出補正値をセレクトダイヤルOFF時にも記憶するようにします

ⓕ 内蔵スピードライト：
内蔵スピードライトの発光を禁止します
（増灯スピードライトは発光可能です）

MENU操作反転：メニュー画面でのズームボタン操作によるカーソルの移動方向を反転します

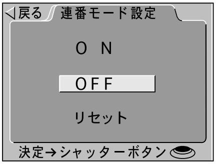
距離m→ft：マニュアルフォーカスセット時の距離表示をmからft（フィート）に切り換えます

…ズームボタンで項目間をカーソルが移動します。セットする項目にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、項目名の左側のチェックボックス（□）がチェック済み（☑）になります。もう一度シャッターボタンを押すと、チェックがキャンセルされます。

…セットする項目のチェックが終わったら、画面左上の［戻る］にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すとセットが完了し、SET UPメニューに戻ります。チェック終了後MENUボタンを押すとセットが完了し、撮影画面に戻ります。

連番モード設定

複数のコンパクトフラッシュカードを使用しても、画像のファイル名を連続する通し番号で自動的にセットします。コンピュータに画像を取り込んで管理する場合などに名称変更することなく管理できます。



[セット内容]

ＯＮ　：連番モードをＯＮにします

ＯＦＦ　：連番モードをＯＦＦにします

リセット　：連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。すでに番号がある場合は、次の番号より連番をつけます。

…ズームボタンで選択し、シャッターボタンを押すとセットされSET UP画面に戻ります。

画像ファイル名・フォルダ名について

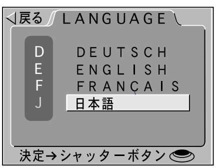
COOLPIX950で撮影した画像ファイルには、4桁の番号が付けられ、DSCN0001.JPG～DSCN9999.JPGという名前で記録されます。このファイルが保存されるフォルダは3桁のフォルダ番号が付けられます。画像ファイルの番号は、フォルダごとに撮影順に0001から9999まで自動的に付けられます。このため、複数のコンパクトフラッシュカード、フォルダを使うと、例えばDSCN0001.JPGという同名のファイルが、複数のカード上・フォルダ上に存在する状態になります。

…連番モードでは、コンパクトフラッシュカードを交換しても、画像ファイル名は撮影順に連続した番号が付けられます。同一名のファイルが作られることがなくなるため、画像をコンピュータに取り込んで管理する場合などに便利です。

…フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、または1フォルダ内に999枚の画像がある場合は、フォルダ番号に1を加えた数のフォルダを新規作成し、そのフォルダ内に新たに0001から連番で画像ファイルを保存していきます。

言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。



[セット内容]

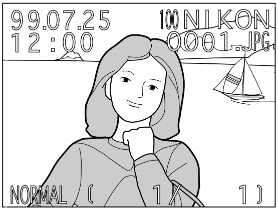
D	DEUTSCH	：ドイツ語表示にします
E	ENGLISH	：英語表示にします
F	FRANÇAIS	：フランス語表示にします
J	日本語	：日本語表示にします

…ズームボタンで言語を選択し、シャッターボタンを押してメニューの選択画面に戻った時点で表示する言語を変更します。

1コマ再生モード

撮影した画像をすぐに液晶モニタで再生して見ることができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。



…液晶モニタに ⌛（WAITマーク）が表示され、1コマ再生画面が表示されます。1コマ再生画面には最後に記録されたコマの画像と、フォルダ名、ファイル名、撮影日付表示、撮影時刻表示、記録サイズ表示、撮影画質モード表示、表示画像コマ番号表示、およびバッテリーチェック表示が表示されます。

…コマンドダイヤルを回すことにより、画像データについてさらに詳細な情報を確認することができます。
再生画像の情報確認については☞P.92

…ズームボタンのW（▼）を押すと1コマ前の画像が表示され、W（▼）を押すごとに撮影された逆の順序で画像を表示していきます。ズームボタンのT（▲）を押すと1コマ後の画像が表示され、T（▲）を押すごとに撮影された順序で画像が表示されます。

…再生画像表示途中でもズームボタンのW（▼）を押すと1コマ前の画像表示を行います。また、ズームボタンのT（▲）を押すと次の画像表示を行います。

…再生中にズームボタンのW（▼）またはT（▲）を押し続けると、画像のコマ番号（液晶モニタ下部に表示）のみカウントアップまたはカウントダウンし、ズームボタンを離したときのコマ番号のコマが再生表示されます。

…最後に撮影された画像が表示されているときにズームボタンのT（▲）を1回押すと先頭画像を表示します。先頭画像の表示時にW（▼）を1回押すと最終画像を表示します。

…撮影した画像がない場合は、液晶モニタに「撮影画像がありません」と表示されます。

…HIモード（フルサイズ、圧縮なし）、フルサイズのFINEまたはNORMALモードで撮影した画像を表示する際には、画像確認のためのプレビュー画像が表示された後いったん画面が消え、実際の撮影画像が表示されます。

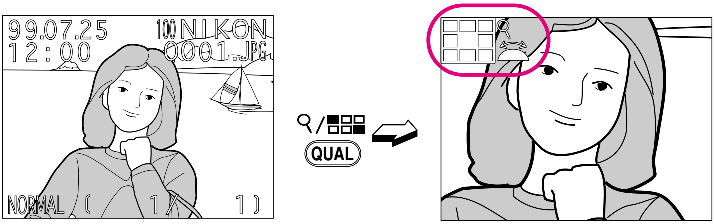
拡大表示モード

9分割した画像の好きな部分を拡大して見ることができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

…液晶モニタに ⌛（WAITマーク）が表示された後、最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

2 拡大表示ボタンを押す。



…1コマ再生画面で拡大表示ボタンを1度押すと、1コマ再生されていた画像の中央部を2倍の大きさで拡大表示します。画像は9つの部分に分割され、コマンドダイヤルを回して、拡大表示する部分を選択できます。拡大表示されている部分の位置は、画面の左上の拡大表示アイコンに表示されます。

…拡大表示ボタンを2度押すと、3倍の大きさで拡大表示します。

…拡大表示ボタンをもう1度押すと拡大表示は解除され、通常の1コマ再生画面になります。

サムネイルモード

液晶モニタに縮小した画像（サムネイル画像）を最大9コマまで表示します。サムネイル画像をコマ送り・コマ戻ししながら選択でき、選択した画像を1コマ再生したり、削除したりすることができます。

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

…液晶モニタに （WAITマーク）が表示された後、最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

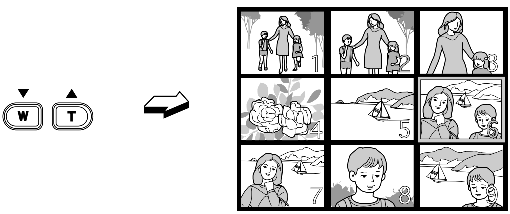
2 サムネイルボタンを押す。



…1コマ再生されていた画像を中心にして9コマの画像が縮小表示されます。撮影画像が9コマより少ない場合は左上から詰めて表示されます。
…1コマ再生されていた画像は、黄色の枠型カーソルで表示されます。

サムネイル画像の選択方法

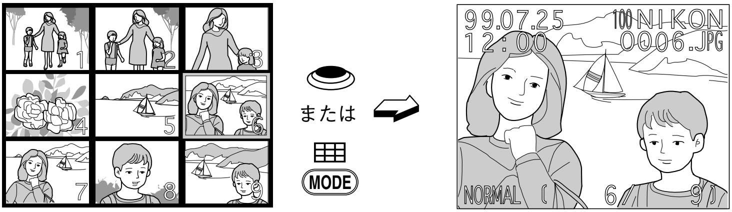
ズームボタンでカーソルを移動させる。



…ズームボタンを押すと、選択画面を示す黄色の枠型カーソルが移動します。カーソルを画面の端（左上または右下）まで移動させ、さらに同方向に移動させると、6画像分のスクロールを行います。
…先頭コマまたは最終コマの表示状態でさらにスクロールさせると、先頭コマの場合には最終コマから9画面、最終コマの場合には先頭コマから9画面を表示します。
…コマンドダイヤルを回すと、サムネイル画像を9コマ単位でページ送りすることができます。

サムネイル画像を1コマ再生するには

サムネイル画像を選択し、シャッターボタンまたはサムネイルボタンを押す。



…1コマ再生したい画像にカーソルを合わせ、シャッターボタンまたはサムネイルボタンを押すと、その画像を1コマ再生します。

撮影した画像の削除

1コマ再生モード時に、削除ボタンを押すと、画像を確認しながら1画像ずつ削除することができます。

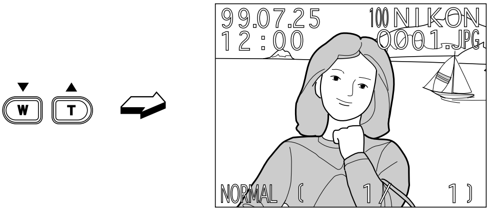
…再生メニューの「削除」メニューを選択すると、全画像または複数選択画像の削除が行えます。
メニュー選択による削除については☞P.77

1コマ再生モードでの削除

1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

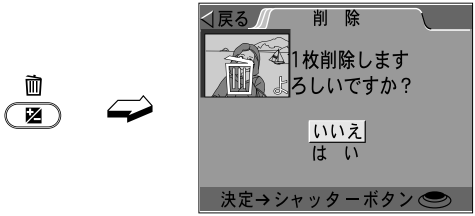
…液晶モニタに⌛（WAITマーク）が表示された後、最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

2 削除する画像を表示させる。



…ズームボタンを押して削除する画像を液晶モニタに表示させます。

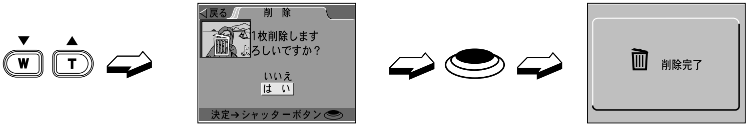
3 削除ボタンを押す。



…削除確認画面が表示されます。
…画面左上には、削除の対象となる画像が表示されています。

撮影した画像の削除

4 ズームボタンで「はい」を選択し、シャッターボタンを押す。



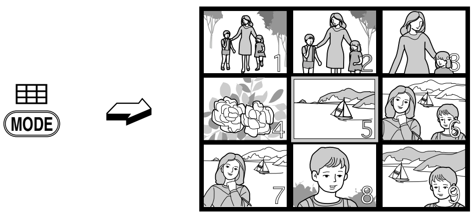
…画像の削除が実行され、削除完了画面が表示された後、次の画像が1コマ再生されます。
…削除を行わない場合は、メニューボタンを押すか、「いいえ」または「戻る」を選択してシャッターボタンを押すと選択画像の1コマ再生画面に戻ります。

サムネイルモードでの削除

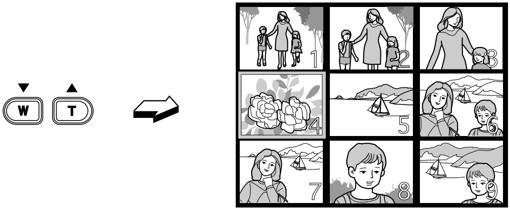
1 セレクトダイヤルをPLAYにセットする。

…液晶モニタに ⌛（WAITマーク）が表示された後、最後に撮影した画像が1コマ再生されます。

2 サムネイルモードにする。

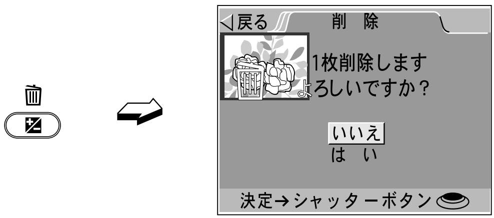


3 削除する画像を選択する。



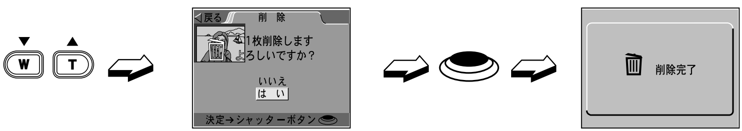
…選択している画像は黄色の枠型のカーソルで示されます。
サムネイルモードでの画像の選択については☞P.71

4 削除ボタンを押す。



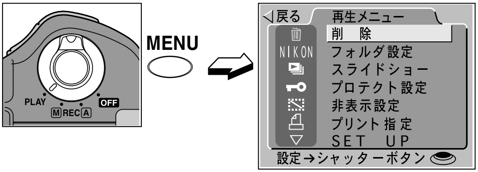
…削除確認画面が表示されます。

5 ズームボタンで「はい」を選択し、シャッターボタンを押す。



…画像の削除が実行されます。削除完了画面が表示され、サムネイル画面に戻ります。
…削除を行わない場合は、メニューボタンを押すか、「いいえ」または「戻る」を選択してシャッターボタンを押すとサムネイルモードに戻ります。
…もう1度サムネイルボタンを押すと、1コマ表示画面に戻ります。

再生メニューの呼び出し

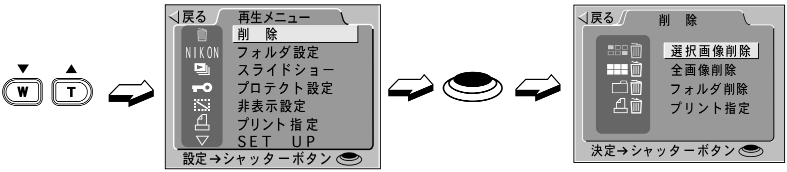


	削除	P.77
NIKON	フォルダ設定	P.78
	スライドショー	P.79
	プロテクト設定	P.80
	非表示設定	P.81
	プリント指定	P.82
▽	SET UP	P.84

…PLAY時にメニューボタンを押すと、液晶モニタにメニュー画面が表示されます。

… が付いている項目は、再生メニュー画面のコマンドダイヤル操作によって機能をセットできます。
コマンドダイヤルによるセットについては ☞P.47

再生メニュー項目の選択



…メニュー項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと、各項目ごとに機能をセットする画面に移行します。

…ズームボタンを押してセットする項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと決定し、メニュー画面からSET UP画面に移行します。

再生メニュー項目のセット

削除

画像、フォルダ、プリント指定ファイルの削除を行います。メニューからの画像削除では、全画像の削除、サムネイル画面から選択した複数の画像の削除が行えます。



［セット内容］

選択画像削除　：画像を選択して削除します
全画像削除　：全画像を削除します
フォルダ削除　：フォルダを削除します
プリント指定　：プリント指定ファイルを削除します

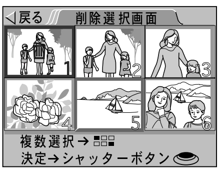
・**選択画像削除：**
削除画像を選択する削除画像選択画面に移行します。

・**全画像削除：**
削除確認画面で確認後に、全画像を削除します。
●プロテクトをかけた画像、非表示をセットした画像は削除されません。

・**フォルダ削除：**
削除フォルダ選択画面に移行します。
●「NIKON」フォルダを削除することはできません。「NIKON」フォルダ以外に新規フォルダを作成していない場合は、フォルダ削除を選択しても、次の画面に進むことはできません。

・**プリント指定：**
プリント指定ファイルが削除されます。

ファイル選択画面での画像選択・削除方法



・1コマ選択：
ズームボタンを押して黄色の枠型カーソルで削除したい画像に合わせ、シャッターボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。
「はい」にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと削除が実行されます。

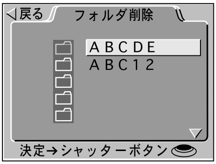
・複数コマ選択：
ズームボタンを押して選択したい画像に黄色枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタン、または削除ボタンを押します。
…選択された画像は削除アイコン が画像上に表示されます。
…画像の選択は、シャッターボタンが押されるまで連続して行うことができます。

削除（つづき）

…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンまたは削除ボタンを押すと選択は解除されます。選択の完了後シャッターボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。
ズームボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、再度シャッターボタンを押すと削除が実行されます。

● プロテクト設定済みの画像は、削除画像選択画面では表示はされますが、選択することはできません。
● 非表示設定済みの画像は、削除画像選択画面では表示されません。

フォルダ選択画面でのフォルダ選択・削除方法



…ズームボタンで削除するフォルダにカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。「はい」にカーソルを合わせて再度シャッターボタンを押すと削除が実行されます。

フォルダ設定

再生（PLAY）モードで表示するフォルダの選択と、フォルダの新規作成、名称変更、削除を行います。



…再生モードで選択したフォルダはセレクトダイヤルをOFFにしても記憶されますが、撮影モードでフォルダが選択された場合は、再生モードで表示するフォルダも変更されます。
…「すべてのフォルダ」を選択すると、登録されたフォルダ内の画像をフォルダ選択することなく再生することができます。
…セット方法は、撮影メニューの「フォルダ設定」（☞ P.55）をご覧ください。

スライドショー

画像を一定時間間隔で順番に再生するスライドショー再生を行います。



［セット内容］

▶	開始	：スライドショーを開始します
■·■·■	インターバル設定	：インターバル時間を設定します

・開始：

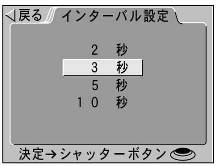
…ズームボタンを押して開始にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を、先頭コマから最終コマまで一定時間間隔で1コマずつ順番にモニタに表示します。

…スライドショー再生中の動作は以下の通りです。

- 30分経過するとオートパワーオフ機能が働きます。
- 最終コマまで表示した後は、一時停止画面になります。
- スライドショー実行中にシャッターボタンを押すと、スライドショーを中断して一時停止画面に切り換わります。
- スライドショーを中止するときは、メニューボタンを押します。

…スライドショーセット画面または一時停止画面で、インターバル設定にズームボタンを押してカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、インターバル設定画面になります。

・インターバル設定：



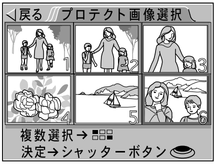
…インターバル時間とは、ある画像の表示から、次の画像の表示が開始されるまでの時間です。はじめにセットされているインターバル時間は3秒、セット可能なインターバル時間は、2秒、3秒、5秒、10秒です。

…ズームボタンを押してインターバル時間を選択し、シャッターボタンを押すと、セットしたインターバルでスライドショーが開始／再開されます。

…画像サイズによっては、セットしたインターバルどおりには画像が切り換わらない場合があります。また、HIモードの画像が含まれている場合は、切り換えに時間がかかります。

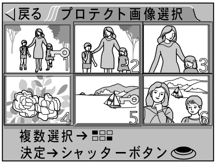
プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を不用意に削除してしまわないようにプロテクトをかけることができます。



［セット方法］
再生メニュー画面でズームボタンを押してプロテクト設定にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、プロテクト画像選択画面が表示されます。

プロテクト画像選択画面での画像選択・プロテクト方法



・**1コマ選択：**
ズームボタンを押して黄色の枠型カーソルでプロテクトをかけたい画像に合わせてシャッターボタンを押すとプロテクト設定されます。

・**複数コマ選択：**
ズームボタンを押して選択したい画像に黄色の枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタンを押します。選択の完了後シャッターボタンを押すと、プロテクト設定が実行されます。

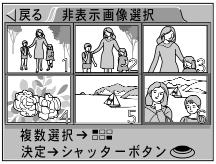
…選択された画像はプロテクトアイコン が画像上に表示されます。
…画像の選択は、シャッターボタンを押してプロテクトを決定するまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンを押すと選択は解除されます。
…プロテクト設定画像は、DOSファイルフォーマットの「読み取り専用」属性がセットされます。

・**解除方法：**
プロテクト画像選択画面で、ズームボタンを押して解除したい画像に黄色の枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタンを押します。

…画像上のプロテクトアイコン が消えます。
…解除する画像は続けて選択できます。
…シャッターボタンを押すと、再生メニュー画面に戻ります。

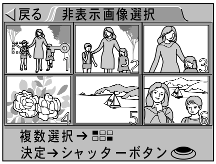
非表示設定

指定された画像を1コマ再生モード、サムネイルモード、スライドショーおよび再生メニュー各項目の画像選択画面で表示されないようにします。



［セット方法］
ズームボタンを押して非表示設定にカーソルを合わせ、選択すると、非表示画像選択の画面が表示されます。

非表示画像選択画面での画像選択・非表示設定の方法



・**1コマ選択：**
ズームボタンを押して黄色の枠型カーソルを非表示にしたい画像に合わせ、シャッターボタンを押すと非表示設定され、再生メニュー画面に戻ります。

・**複数コマ選択：**
ズームボタンを押して選択したい画像に黄色の枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタンを押します。選択の完了後シャッターボタンを押すと、非表示設定が実行されます。

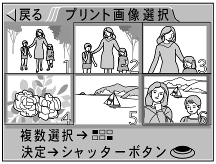
…選択された画像は非表示アイコン が画像上に表示されます。
…画像の選択は、シャッターボタンを押して非表示設定を実行するまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンを押すと選択は解除されます。
…非表示設定された画像は、非表示設定画面でのみ表示されます。また、非表示設定された画像にはコマ番号は割り当てられません。ただし、非表示設定画面では非表示設定済み画像も含めた通し番号をコマ番号として表示します。
…非表示設定の解除は、非表示画像選択画面で画像を再選択して行います。
…非表示設定画像は、DOSファイルフォーマットの「隠しファイル」属性がセットされます。

・**解除方法：**
非表示画像選択画面で、ズームボタンを押して解除したい画像に黄色の枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタンを押します。

…画像上の非表示アイコン が消えます。
…解除する画像は続けて選択できます。
…シャッターボタンを押すと、再生メニュー画面に戻ります。

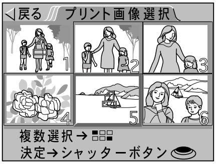
プリント指定

画像ファイルのプリントについての指定を行います。プリント指定でのセット内容は、プリント設定ファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記憶・保存されます。COOLPIX 950は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に準拠しています。



［セット方法］
ズームボタンを押してプリント指定にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、プリント画像選択の画面が表示されます。

プリント画像選択画面での画像選択・指定の方法

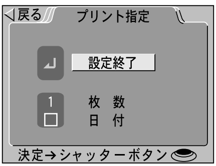


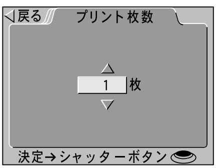
・1コマ選択：
ズームボタンを押して黄色の枠型カーソルでプリントしたい画像に合わせ、シャッターボタンを押すと、プリント指定され、プリント指定画面に移行します。

・複数コマ選択：
ズームボタンを押して選択したい画像に黄色の枠型カーソルを合わせ、複数選択ボタンを押します。選択の完了後シャッターボタンを押すと、プリント指定され、プリント指定画面に移行します。

…選択された画像はプリントアイコン が画像上に表示されます。
…画像の選択は、シャッターボタンを押してプリント指定を決定するまで連続して行うことができます。
…すでに選択されている画像上でもう一度複数選択ボタンを押すと、選択は解除されます。

・プリント指定：





プリント指定画面では、プリント枚数と日付のプリントの有無をセットできます。

・枚数のセット：
ズームボタンを押して、枚数にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、プリント枚数画面に移行します。ズームボタンで枚数の増減を行い（1枚〜9枚）、シャッターボタンを押すか、コマンドダイヤルを回して画面左上の「戻る」にカーソルを移動させてシャッターボタンを押すとプリント指定画面に戻ります。または、枚数にカーソルを合わせ、コマンドダイヤルを回して枚数の増減を行います。

・日付の有無：
日付はチェックボックスになっており、ズームボタンを押してカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、チェックのON/OFFが切り換わります。または、コマンドダイヤルを回してチェックのON/OFFを切り換えます。

・セットの終了：
ズームボタンを押して、「設定終了」にカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、プリント指定のセットが完了します。

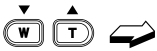
DPOF(Digital Print Order Format)について

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントサービスや、家庭用のプリンタで自動プリントするための記録フォーマット「DPOF(Digital Print Order Format)」です。これは、現在の各社独自仕様となっているプリント情報を標準化することで、より効率的なプリントの実現をするための規格です。

・ご使用のプリンタ・プリントサービスがDPOFに対応しているかご確認ください。
・ニコンデジタルフォトプリンタNP-100は、日付機能に対応していません。

再生SET UP項目のセット

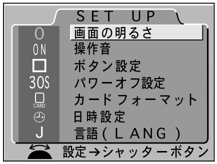
SET UP画面の呼び出し





SET UP画面



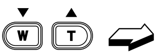


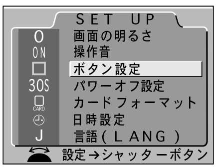
0	画面の明るさ	✓	P.85
ON	操作音	✓	P.85
□	ボタン設定		P.85
30S	パワーオフ設定	✓	P.85
CARD	カードフォーマット		P.85
◷	日時設定		P.86
J	言語（LANG）		P.86

…ズームボタンを押して、PLAYのメニュー画面の最下段のSET UPにカーソルを合わせ、シャッターボタンを押すと、再生SET UP項目をセットする再生SET UP画面に移行します。

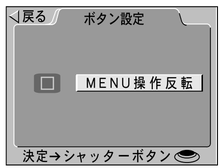
…（コマンドダイヤルマーク）が付いている項目は、再生SET UPメニュー画面でコマンドダイヤル操作によって機能をセットできます。
コマンドダイヤルによるセットについては ☞P.47

SET UP項目の選択









…ズームボタンを押してセットする項目にカーソルを合わせてシャッターボタンを押すと決定し、メニュー画面からSET UP画面に移行します。

…日時設定はセットする項目数が他のSET UP項目よりも多くなります。詳細については、「日時設定」（☞P.64）を参照してください。

SET UP項目のセット

画面の明るさ

液晶バックライトの明るさを3段階の中からセットします。

…セット方法は、撮影SET UPの「画面の明るさ」（☞P.62）をご覧ください。

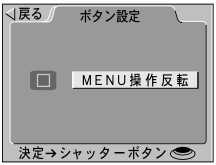
操作音

カメラの状態を知らせる操作音のオン／オフをセットします。

…セット方法は、撮影SET UPの「操作音」（☞P.63）をご覧ください。

ボタン設定

PLAY時のズームボタン操作によるカーソルの移動方法をセットします。



［セット内容］

MENU操作反転 ：メニュー画面でのズームボタン操作によるカーソルの移動方向を反転します

…セット方法は、撮影SET UPの「ボタン設定」（☞P.67）をご覧ください。

パワーオフ設定

再生モード時にカメラの操作が終了してからオートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。

…A-REC/M-RECのパワーオフ設定とは無関係に、再生モード独自にセットできます。オートパワーオフ機能については ☞P.114

…セット方法は、撮影SET UPの「パワーオフ設定」（☞P.63）をご覧ください。

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行います。

…セット方法は、撮影メニューの「カードフォーマット」（☞P.58）をご覧ください。

日時設定

内蔵時計の年月日・時刻のセットを行います。

…セット方法は、撮影SET UPの「日時設定」（☞P.64）をご覧ください。

言語（LANG）

メニューに表示する言語を切り換えることができます。

…セット方法は、撮影SET UPの「言語（LANG）」（☞P.68）をご覧ください。

応用的な使い方

知っておいていただくと便利な機能について説明しています。

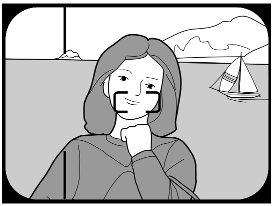
AF／AEロック

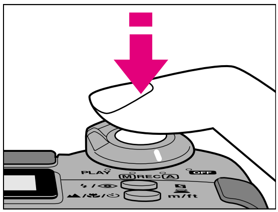
AF（オートフォーカス）でピントを合わせる場合、主要被写体（ピントを合わせたいものや人物など）にオートフォーカスフレームを合わせてシャッターボタンを半押しすると、その後にピントの合った状態で固定されます。これをAFロックといいます。同時に主要被写体の露出もカメラに記憶され、これをAEロックと言います。この機能には主要被写体がオートフォーカスフレームから外れる構図の撮影や、主要被写体に露出を合わせたい撮影のときなどに便利です。

1 撮影メニューの測光方式をスポットまたは中央部重点測光にセットする。

…AEロック撮影は、マルチ測光、スポット測光、中央部重点測光のいずれでも行うことができますが、マルチ測光は十分なAEロック効果が期待できないため、おすすめできません。

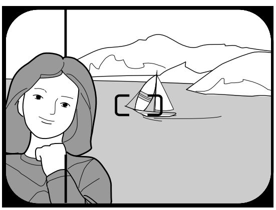
2 ファインダーを見ながら主要被写体にオートフォーカスフレームを重ねてシャッターボタンを半押しする。

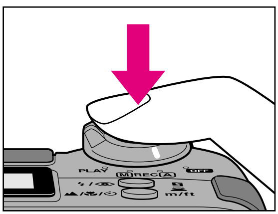




…ピントが合うと緑色LEDが点灯し、ピントと露出が固定（記憶）されます。

3 緑色LEDが点灯した状態で、シャッターボタンを半押ししたまま構図を決めて撮影する。





●緑色LEDが点灯後は主要被写体との撮影距離を変えないでください。

オートフォーカスが苦手な被写体の撮影

COOLPIX 950のオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体についてピント合わせが可能ですが、被写体の条件によってはオートフォーカスでのピント合わせが正常にできない場合があります。その場合は、以下の方法で撮影してください。

1. オートフォーカスでのピント合わせができず、緑色LEDが高速に点滅してシャッターがきれない場合（液晶モニタ消灯時※）

（例）	・被写体が非常に暗い場合 ・画面内の輝度差が非常に大きい場合 （太陽が背景に入った日陰の人物など） ・被写体のコントラストがない場合 （白壁や背景と同色の服を着ている人物等）

↓

被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさのコントラストのはっきりしたものでピントを合わせ、フォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

※液晶モニタ点灯時はピントが合っていなくてもシャッターがきれます。

●シャッターボタンを半押ししてフォーカスロックを行った場合には、同時にAEロックも行われますので、露出には十分ご注意ください。

2. 緑色LEDが点灯し、シャッターがきれてもピントが合わない場合

（例）	・遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物等） ・動きの早い被写体

↓

撮影したい被写体と同じ距離にあるほぼ同じ明るさのものにあらかじめピントを合わせ、フォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

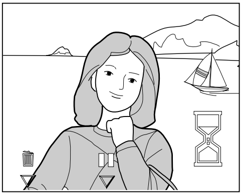
…M-RECでは、マニュアルフォーカスによる撮影もできます。
マニュアルフォーカスについては ☞P.44

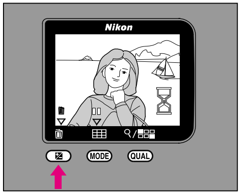
●シャッターボタンを半押ししてフォーカスロックを行った場合には、同時にAEロックも行われますので、露出には十分ご注意ください。

記録中の画像のキャンセル（クイックデリート）／表示延長

記録中の画像のキャンセル

液晶モニタを点灯しての撮影時には、シャッターボタンを押して撮影したあとでも、画像の記録中に記録をキャンセル（クイックデリート）することができます。

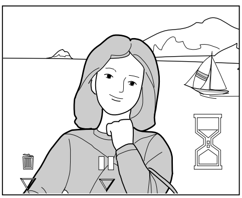


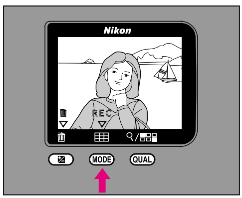


…撮影画像の記録中に液晶モニタに （クイックデリートマーク）が表示されている間に露出補正ボタンを押すと、キャンセルの確認のあと画像のデータのコンパクトフラッシュカードへの記録がキャンセルされます。
…記録中の画像のキャンセルは、記録サイズがフルサイズの場合のみ有効です。

記録中の画像の表示延長

液晶モニタを点灯しての撮影時には、シャッターボタンを押して撮影したあと、画像の記録中に撮影した画像の表示を延長することができます。





…撮影画像の記録中に液晶モニタに （静止画延長マーク）が表示されている間に露出モードボタンを押すと、撮影した画像の静止画表示が10秒間延長され、液晶モニタに REC マークが表示されます。
…静止画表示の延長をキャンセルする場合は REC マークが表示されている間に露出モードボタンを押すと延長がキャンセルされ、コンパクトフラッシュカードへの記録が行われます。
…記録中の画像の表示延長は、記録サイズがフルサイズの場合のみ有効です。

撮影可能枚数の確認

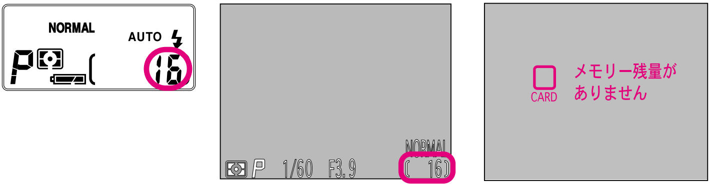
セレクトダイヤルをA-RECまたはM-RECにセットすると、上部表示パネルと液晶モニタに撮影可能枚数が表示されます。撮影可能枚数は、装着しているコンパクトフラッシュカードの記憶容量の残量と、設定されている画質モード・記録サイズによって異なりますので、撮影の前などには撮影可能枚数を確認してください。

画質モード・記録サイズ・撮影可能枚数については ☞ P.38

1 セレクトダイヤルをA-REC、M-RECのいずれかにセットする。

…カメラの電源がオンになり、上部表示パネルと液晶モニタに表示が点灯します。

2 撮影可能枚数表示を確認する。

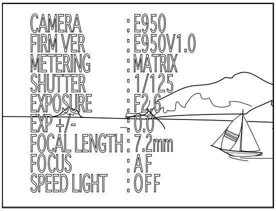


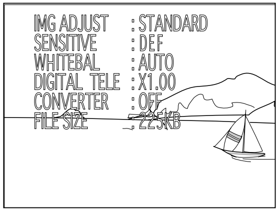
…撮影可能枚数は撮影を行うごとにカウントダウンしていきます。撮影可能枚数が0になると撮影はできなくなり、液晶モニタに警告が表示されます。
警告表示については ☞ P.106

- 撮影しても残りコマ数が減らなかったり、消去しても撮影可能枚数が増えないことがあります。
- 撮影可能枚数が0の場合でも画質モード、記録サイズを切り換えることにより撮影が可能になることがあります。
- 画質モードおよび記録サイズを切り換えると、撮影可能枚数が0になることがあります。
- 画像ファイル名およびフォルダ番号が最大の値※に達した場合にはそれ以上撮影ができません。カードを交換するか、カード内の画像を全削除してください。カード内の画像ファイルを選択消去し、一番数値の大きい画像ファイル名だけ残して何度も繰り返し撮影を行うと、画像ファイル名は、カード内の一番数値の大きい画像ファイルから加算されてつけられるため、DSCN9999.JPGに達する場合があります。
  画像ファイル名については ☞ P.68、99
  ※画像ファイル名の最大値は DSCN9999.JPG、フォルダ番号の最大値は 999です。

再生画像の画像情報表示

液晶モニタに再生画像を表示しているとき、コマンドダイヤルを回すと画像情報が表示されます。





…表示される撮影画像情報の内容は以下の通りです。

[画面1]

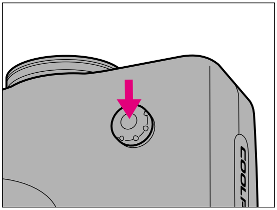
CAMERA	: E950	撮影カメラの機種
FIRM VER	: E950V1.0	ファームウェアのバージョン
METERING	: MATRIX	測光方式
SHUTTER	: 1/125	シャッタースピード
EXPOSURE	: F2.6	絞り値
EXP +/-	: 0.0	露出補正値
FOCAL LENGTH	: 7.2mm	焦点距離
FOCUS	: AF	フォーカスモード
SPEED LIGHT	: OFF	スピードライト

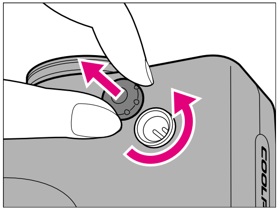
[画面2]

IMG ADJUST	: STANDARD	階調補正
SENSITIVE	: DEF	感度
WHITEBAL	: AUTO	ホワイトバランス
DIGITAL TELE	: X1.00	電子ズームの倍率
CONVERTER	: OFF	コンバータ
FILE SIZE	: 225KB	撮影画像のファイルサイズ

増灯ターミナル

COOLPIX950と増灯ブラケットSK-E900（別売）および使用可能な当社製スピードライト（別売）を組み合わせて使用することで、スピードライトの増灯撮影が可能になります。





…増灯ターミナルのキャップをはずし、増灯アダプタのカメラ取り付けプラグを接続します。
…使用可能な当社製別売スピードライトは、SB-28、SB-26、SB-25、SB-24、SB-22s、SB-22です。その他の当社製スピードライトをご使用の場合は、当社サポート部門までお問い合わせください。
…マクロモードでの撮影時は、液晶モニタによる試し撮りをして撮影された画像を確認することをおすすめします。
…M-RECメニューの「ボタン設定」で、内蔵スピードライトを発光停止にして、増灯スピードライトのみ発光させることができます。
ボタン設定については ☞ P.67
…スピードライトの種類によってはオートパワーズーム機能がありますが、COOLPIX950との組み合わせでは機能しません。マニュアルで照射角度をセットしてください。
…スピードライトの照射角度は28mmよりも広角側にセットしてください。
…スピードライトのアクティブ補助光は点灯しません。
…増灯ブラケットSK-E900、別売スピードライトの基本的な性能や使用方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。

●他社製のスピードライトについて
他社製スピードライト（カメラの増灯ターミナルにマイナス電圧や250V以上の電圧がかかるもの、アクセサリシュー部の小さな接点が触れてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損することがあります。

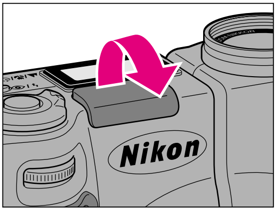
接　　続

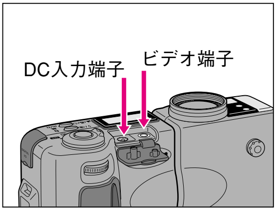
ACアダプタ（別売）、ビデオ、パソコンなど
との接続方法の概要などを説明しています。

専用ACアダプタ（別売）の使い方

専用のACアダプタEH-30（6.5V、2.5A）で家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

DC入力端子・ビデオ出力端子カバーを矢印の方向に開けてください。

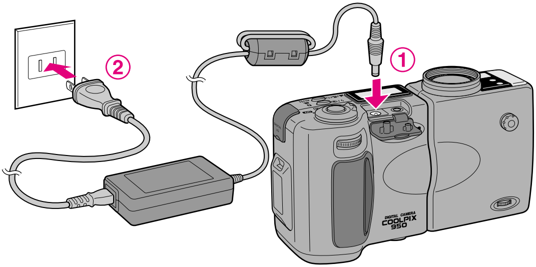




●ACアダプタ端子を抜き差しするときは、セレクトダイヤルがOFFになっていることを必ず確認してください。

1 セレクトダイヤルがOFFになっていることを確認し、ACアダプタのジャックを本体のDC入力端子に接続する。

2 電源プラグをコンセントに接続する。



●本体のDC入力端子には専用のACアダプタEH-30以外のものを接続しないでください。
●ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ、カメラ本体が熱を持つことがありますが、故障ではありません。
●ACアダプタを接続して撮影を行うときは、ACアダプタのコードがレンズやスピードライト、調光センサー部にかからないよう注意してください。

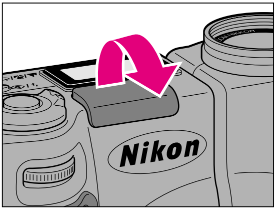
接続

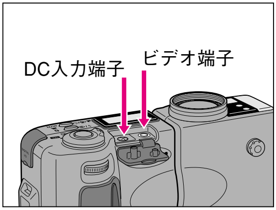
テレビ・ビデオなどとの接続

COOLPIX 950をテレビやビデオなどに接続して、画像をテレビ画面に表示させたり、ビデオに録画したりできます。接続には専用のビデオケーブル（付属）をご使用ください。

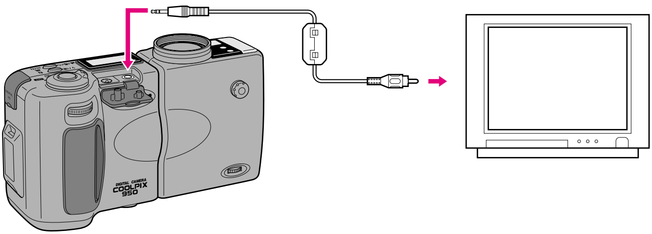
●COOLPIX 950、700、910、900以外で記録されたコンパクトフラッシュカードの画像データはテレビ画面に表示することはできません。

DC入力端子・ビデオ出力端子カバーをイラストのように開けてください。





テレビなどとの接続



…COOLPIX 950のビデオ出力端子に専用ビデオケーブルを接続して使用します。
…ビデオ端子にビデオケーブルが接続されると、表示している画像データをビデオ出力します。
…ビデオケーブル接続時にも、ボタン入力などのカメラの各種動作は接続前と同様に行えます。
…テレビなどには、液晶モニタがオフになっている場合を除いて、液晶モニタと同じ内容が表示されます。ただし、対面撮影中の撮影画像は上下逆に表示されます。
…液晶モニタがオフになっている場合は、情報表示のない画像がビデオ出力されます。液晶モニタ表示とビデオ出力の関係は下表のようになります。

液晶モニタ	ビデオ出力
オフ	情報表示なし
情報表示あり	情報表示あり
情報表示なし	情報表示なし

…ACアダプタ接続中はオートパワーオフ開始時間は30分に固定されます。ただし、ビデオケーブルが接続されている場合にはビデオ信号は継続して出力され､液晶モニタは30分後にオフになります。

パソコンとの接続

COOLPIX 950はシリアルインターフェースを装備しており、パソコンと接続してデータの送受信を行うことができます

…COOLPIX 950はDesign rule for Camara File systemに準拠しています。

…最初にパソコン接続キットの使用説明書をお読みになり、必要なソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

…カメラの電源をオフにし、撮影画像が保存されたコンパクトフラッシュカードが装着され、電池またはACアダプタが装着されていることを確認してください。

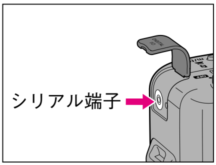
…電池の消耗を防ぐためACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。

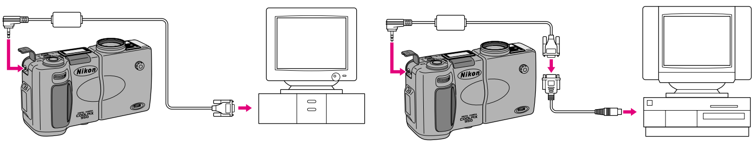
●COOLPIX 950、700、910、900以外で記録されたコンパクトフラッシュカードの画像データは転送できません。

パソコン接続キット（別売）PK-SC2でCOOLPIX 950をパソコンに接続する

1 接続の開始

カメラのシリアル端子カバーを開け、シリアルケーブルでカメラとパソコンを接続する。





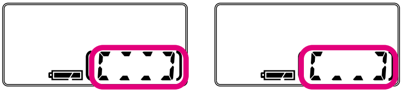
…シリアルインターフェースを使ってCOOLPIX 950とパソコンなどを接続する場合には、COOLPIX 950のシリアル端子に専用シリアルケーブルを使って接続します。シリアル通信ケーブルは接続するコンピュータ（Windows®、Macintosh）の種類に対応するケーブルを使用してください。

…シリアルケーブルのコネクタの形状はパソコンによって異なりますので、接続キットの使用説明書をお読みになり、適合するコネクタ／アダプタを選んで接続してください。

…パソコンのRS-232Cポート（シリアルポート）がD-sub9ピン以外の場合は、別途D-sub9ピンへの変換アダプタが必要になります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2 カメラのセレクトダイヤルをOFF以外にセットする。

…カメラの操作ボタンはセレクトダイヤル以外は操作できません。
…カメラにシリアルケーブルが接続された状態でセレクトダイヤルをOFF以外にセットすると、カメラは通信待ち受け状態になります。PCと接続されるとPC通信モードとなります。
…シリアルケーブルが接続されると、上部表示パネルのカウンタ部が[: :]のように表示されます。パソコンとのデータ通信中は表示が回転します。



●カメラとパソコンの通信中にはシリアルケーブルを絶対に抜かないでください。ソフトウェアが正常に動作しなくなるばかりか、データが破損したり、カメラの故障の原因となることがあります。

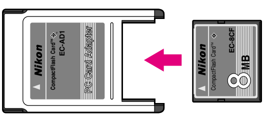
3 接続の終了

接続を終了する場合は、カメラのセレクトダイヤルをOFFにセットし、上部表示パネルの表示が消灯したことを確認してからシリアルケーブルを外してください。
…Design rule for Camera File system（DCF）について：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための画像フォーマットです。
●カメラとパソコンの通信中はセレクトダイヤルをOFFにしないでください。

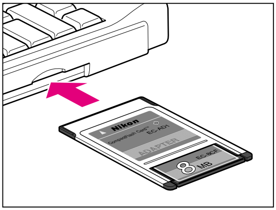
コンパクトフラッシュカードから直接パソコンに読みとる

別売のPCカードアダプタEC-AD1を用いて、PCMCIA TYPE II準拠ATAカードとして、パソコンで直接画像を読み書きすることができます。

1 カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを、PCカードアダプタにセットする。



2 PCMCIA TYPE IIのカードに適合するスロットを持ち、ATAカードの読めるパソコンに装着する。



…装着方法の詳細については、ご使用のパソコン本体の使用説明書を参照してください。
…ご使用の環境によっては、ソフトウェアのインストールや登録、設定が必要となる場合があります。ご使用のパソコンおよびOSの使用説明書を参照してください。

3 JPEGをサポートしているアプリケーションソフトでコンパクトフラッシュカードの画像を開く。

…撮影メニューのフォルダ設定でフォルダ操作（新規作成、名称変更）を行っていない標準的な状態では、コンパクトフラッシュカードの中には、「DCIM」という名前のディレクトリ（フォルダ）の中に「100NIKON」というフォルダがあり、その中に、次のような名前で画像ファイルが保存されています。

DSCN0001.JPG, DSCN0002.JPG, DSCN0003.JPG・・・

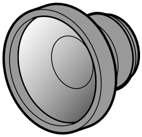
ファイル名のDSCNはCOOLPIX 950が画像ファイルにつける名称で、次の4桁の数字は画像ファイル番号、JPGはJPEGファイルであることを表わす拡張子です。
…カメラで使用する画像ファィル名は、1つのフォルダにつきDSCN0001.JPGからDSCN9999.JPGまでです。また、「100NIKON」というフォルダ内にある画像ファイルの番号が9999に達したときには、COOLPIX 950が自動的に「101NIKON」という名前のフォルダを新規作成し、その中に新たにDSCN0001.JPGから順次画像ファイルが保存されていきます。
…HI（非圧縮）で撮影された画像はTIFF形式で保存されています。

参考

別売アクセサリーや、警告表示が出たときの対応方法、カメラの仕様などを説明してあります。

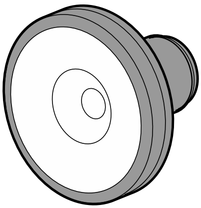
別売アクセサリー

ワイドコンバータ　WC-E24



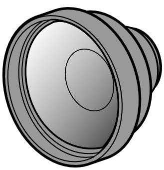
COOLPIX 950に取り付けて広角撮影を行うことができます。装着することにより撮影レンズの焦点距離が0.66倍に短縮されます。COOLPIX 950のワイド端状態で撮影すると最も広角となり、合成焦点距離は4.6mm（35mm判カメラで約24mmに相当)、合成FナンバーはF2.6となります。

フィッシュアイコンバータ　FC-E8



COOLPIX 950に取り付けて魚眼撮影を行うことができます。装着することにより撮影レンズの焦点距離が0.21倍に短縮され、画角約183°の円形画像を撮影することができます。合成焦点距離は1.5mm（35mm判カメラで約8mmに相当)、合成FナンバーはF2.6となります。

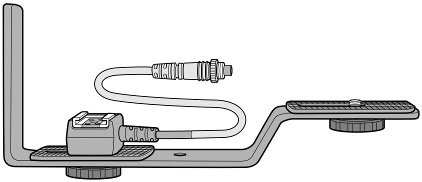
テレコンバータ　TC-E2



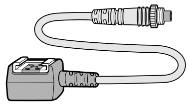
COOLPIX 950に取り付けて望遠撮影を行うことができます。装着することにより撮影レンズの焦点距離が約2倍に拡大されます。COOLPIX 950のテレ端状態で撮影すると最も望遠となり、合成焦点距離は42mm（35mm判カメラで約230mmに相当)、合成FナンバーはF4となります。

別売アクセサリー（つづき）

増灯ブラケット　SK-E900



増灯アダプタ　AS-E900



COOLPIX 950と当社製スピードライト（別売）を装着・接続してスピードライトの増灯撮影を行うためのブラケットです。内蔵および増灯スピードライトの発光量はCOOLPIX 950本体からコントロールするため、簡単に高性能なスピードライト撮影が可能となります。

コンパクトフラッシュカード　EC-CFシリーズ



COOLPIX 950に装着し、撮影したデータ画像を記録するメディアです。小型軽量で携帯性に優れています。

使用できるコンパクトフラッシュカード

本カメラの画像データ記録媒体としては、ニコンコンパクトフラッシュカードEC-CFシリーズをお使いください。なお、以下の他社製コンパクトフラッシュカードにつきましては、動作確認をいたしております。

SanDisk社製　：SDCFB-4、SDCFB-8、SDCFB-15、SDCFB-30、SDCFB-40、SDCFB-48、SDCFB-64、SDCFB-96

*上記コンパクトフラッシュカードの機能、動作の詳細等については、メーカーにご相談ください。

コンパクトフラッシュカード使用上のご注意

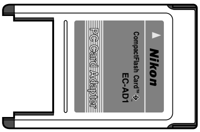
- カメラの使用直後にはコンパクトフラッシュカードが熱くなっている場合がありますので、取り出す場合にはご注意ください。
- 未使用カードは必ずフォーマット（初期化）してからご使用ください。
  コンパクトフラッシュカードのフォーマットについては　☞ P.23
- コンパクトフラッシュカードのフォーマット中には、絶対にカメラからカードを取り出さないでください。カードが使用できなくなることがあります。

●コンパクトフラッシュカードへ記録・削除が行われているときやコンピュータとの通信時には、以下のことは行わないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。

・カードの着脱をする
・電源をオフにする
・電池を取り出す
・ACアダプタを抜く

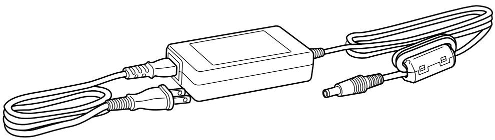
●端子部に手や金属を触れないでください。
●コンパクトフラッシュカードカバーには無理な力を加えないでください。破損の恐れがあります。
●曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●熱、水分、直射日光を避けてください。

PCカードアダプタ EC-AD1



コンパクトフラッシュカードと組み合わせることにより、PC Card Standard-ATAに準拠したPCカードとしてご使用になれます。

ACアダプタ EH-30



専用のACアダプタ（6.5V、2.5A）で、家庭用電源（AC100V）から電源をとることができます。

参考

パソコン接続キット PK-SC2

・同梱品

- ・プログラムCD-ROM・・・・・・・・・・2枚
  <ドライバソフト Nikon View Ver.2、CD-ROM（デジカメNinja for Nikon、IPIX Wizard・Viewing Software・IPIX Worldのカップリング）、Adobe Photoshop-LE（5.0版）CD-ROM>
- ・シリアルケーブル（Windows®用）・・1本
- ・変換ケーブル（Macintosh用）・・・・・1本
- ・使用説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・1冊
- ・ユーザー登録カード・・・・・・・・・・・1枚
- ・ソフトウェア使用許諾契約書 ・・・・1枚

DOS／V機（IBM PC／AT互換機）、NEC PC-9800シリーズ、Macintoshおよびその互換機でご使用になれます。

動作環境

●Windows

Computer	IBM PC/AT互換機またはNEC PC-9801, 9821シリーズ
CPU	80486またはPentium
OS	Windows95以降
RAM	8MB以上の空き容量*
ハードディスク	プログラム起動時に20MB以上の空き容量*
モニタ解像度	640×480ドット以上
CD-ROMドライブ	インストールのため必要
インターフェース	シリアルインターフェース（転送速度19200bps以上）**

●Macintosh

Computer	Apple MacintoshまたはPower Macintosh
CPU	68040またはPowerPC
OS	MacOS 7.6.1J以降
RAM	8MB以上の空き容量*
ハードディスク	プログラム起動時に20MB以上の空き容量*
モニタ解像度	640×480ドット以上
CD-ROMドライブ	インストールのため必要
インターフェース	シリアルインターフェース

* 他のソフトウェアと合わせてご使用の場合の必要空き容量は、それぞれのソフトウェアに添付のマニュアルおよび解説書にてご確認ください。
**パソコンのRS-232C（シリアルポート）がD-sub9ピン以外の場合は、別途D-sub9ピンへの変換アダプタが必要となります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
●シリアルインターフェースが標準装備されていないパソコンでは使用できません。

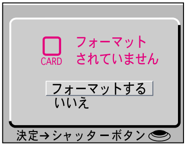
故障かな？と思ったら

下表にしたがって点検しても直らないときはお買い上げの販売店またはP.110に記載されている当社サービス部門までお問い合わせください。

	こんなときは	ここをご確認ください	ページ
電源	電源が入らない	・電池が消耗している ・電池が正しい向きで入っていない ・ACアダプタが正しく接続されていない	20 19 95
	電源が入ってもすぐに切れる	・電池が消耗している ・低温下で使用している	20 9
撮影	シャッターボタンを押しても撮影できない	・セレクトダイヤルがA-REC、またはM-RECの位置になっていない ・撮影可能なコンパクトフラッシュカードが入っていない ・撮影可能枚数がない →不要な画像を消去してください ・セルフタイマー撮影になっている ・スピードライト充電中→少しお待ちください	28 21 91 39 41
	液晶モニタの表示や画像がはっきりしない	・液晶の明るさ調整が合っていない ・ゴミやほこりがついている ・蛍光管が寿命である →お買い上げ販売店または当社サービス部門にご相談ください	110
	ピントが合わない	・ピントが合わせにくい被写体である	89
	スピードライトが発光しない	・発光禁止モードになっている ・連写またはＢＳＳモードになっている	41 50/53
	画像が自然な色合いにならない	・ホワイトバランスが調節できない状況で撮った	48
再生	再生できない	・セレクトダイヤルがPLAYの位置になっていない ・撮影済みのコンパクトフラッシュカードが入っていない ・撮影済みのコンパクトフラッシュカードの画像を全て消去した	28 69 69
	テレビに再生画像が出ない	・テレビと正しく接続されていない ・テレビの入力切り換えが「ビデオ」になっていない	96
	テレビの画像が鮮明に出ない、色がおかしい	・テレビと正しく接続されていない、接触不良が起きている→正しく接続してください ・テレビの調整がおかしい →テレビの使用説明書もよくお読みください	96
その他	パソコンと通信できない	・パソコンと正しく接続されていない →パソコン接続キットの使用説明書もよくお読みください	97

警告表示について

液晶モニタおよび上部表示パネルに下記の警告表示が点灯または点滅した場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の点をご確認ください。

こんなときは		原　因
液晶モニタ	上部表示パネル カウンタ	
		●コンパクトフラッシュカードが入っていないか、正しくセットされていません。
		●コンパクトフラッシュカードが正しくフォーマットされていません。
		●コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がないか、999枚撮影して撮影ができません。
		●コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。
		●カメラで認識できないファイルやプロテクト設定、または非表示設定された画像ファイルがあります。

対 処 法	参照ページ
●コンパクトフラッシュカードを正しくセットしてください。	P.21
●液晶モニタ画面の「フォーマットする」にカーソルを合わせてシャッターボタンを押して、コンパクトフラッシュカードのフォーマットを行ってください。 ●正しくフォーマットされたコンパクトフラッシュカードに交換してください。	P.23 P.21
●カードに記録されている画像を削除してカードに画像ファイルを保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップを行ってください。 ●新しいカードに交換してください。	P.73 P.77 P.21
●COOLPIX 950用のコンパクトフラッシュカードであるかどうか確認してください。 ●コンパクトフラッシュカードがこわれている可能性があります。当社サービス部門までご連絡願います。	P.102 P.110
●COOLPIX 950以外で撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されている場合に表示されます。 ●画像ファイルのプロテクト設定、または非表示設定を解除してください。	P.99 P.80 P.81

警告表示について（つづき）

こんなときは		原　因
液晶モニタ	上部表示パネル カウンタ	
CARD 画像を 登録できません		●画像ファイル名の番号のオーバーフローです。 ●カードのフォーマットが異なります。
表示可能な 画像がありません		●記録されている画像が非表示設定されているために表示されません。
このファイルは 表示できません		●画像ファイルを表示できません。
システムエラー	[Err]	●内部メモリーへのアクセス異常、MPU間の通信エラー、フォーカス動作異常、ズーム動作異常などのエラーです。

対 処 法	参照ページ
●カメラが扱えるファイル数をオーバーした場合に左のエラーが表示されます。新しいコンパクトフラッシュカードに入れ換えるか画像ファイルまたはフォルダを削除してください。 ●コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なる可能性があります。再フォーマットしてください。	P.91 P.21 P.77 P.23
●再生メニューの非表示設定メニューを選択して、画像の非表示設定を解除してください。	P.81
●COOLPIX 950、700、910、900以外で撮影された画像か、アプリケーションソフトで編集されている場合に表示されます。	P.99
●再度電源を入れ直すか、電池を入れ直してください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	P.19 P.110

参考

ユーザーサポートについて

このカメラの内容および操作方法について、さらにご質問がございましたら下記の当社サービス部門までお問い合わせください。

■内容および操作に関する技術的なお問い合わせは

〒140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2F）
株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター
TEL（03）3773-0191　FAX（03）3773-8569
受付時間：土・日曜日、祝日を除く毎日　10:00～17:00
※このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

お願い

- ●お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- ●より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」はコピーしてお使いいただくと、繰り返しお使いいただけ便利です。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140-8601　東京都品川区西大井1-6-3
株式会社ニコン　東京大井サービス
TEL（03）3773-2221
受付時間：土・日曜日、祝日を除く毎日　8:30～17:15
※このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

（株）ニコン　電子画像テクニカルセンター　行
TEL:03-3773-0191　　FAX:03-3773-8569

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のコンピュータの機種名：
メモリ容量：　　　　ハードディスクの空き容量：
OSのバージョン：　　　　ご使用のインターフェース：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン名：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：
（おわかりになる範囲で結構ですから、できるだけ詳しくお書きください）

※本紙はコピーしてお使いください。

整理番号：

参考

ニコンデジタルカメラCOOLPIX950の主な仕様

型式	ニコンデジタルカメラE950
撮像素子	総画素数211万画素、1/2インチ
記録画素数	1,600×1,200、1,024×768、640×480
レンズ	3倍ズームニッコールレンズ、f=7〜21mm （35mm判換算38〜115mm）F2.6〜4
電子ズーム	1.25倍、1.6倍、2倍、2.5倍
フォーカスモード	コンティニュアスAFモード／シングルAFモード、遠景モード マクロモードに切り換え可能、マニュアルフォーカス可能
撮影距離	30cm〜∞（マクロ時レンズ前2cm［ズームのミドルポジション］〜∞）
光学ファインダー	実像式光学ズームファインダー、視野率約85%、
	倍率0.44〜1.2、LED表示、視度補正機能付き（-2.0〜+1.0Dpt）
液晶モニタ	2インチ低温ポリシリコンTFT液晶、130,000画素、 視野率約97%、バックライト輝度調節機能3段階
記録画像ファイル形式	JPEG準拠（Design rule for Camera File system準拠） ／TIFF-RGB
画質モード（圧縮率）	HI（非圧縮）・FINE（約1/4）・NORMAL（約1/8）・ BASIC（約1/16）
撮影可能コマ数（フルサイズ）	HI1コマ・FINE約8コマ・NORMAL約16コマ・BASIC約32 コマ（8MBカード時）
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
撮影モード	フルオートモード（A-REC）／カスタムモード（M-REC： 撮影メニューによりホワイトバランス、測光モード、露出補正、 階調補正、モノクロモード等の設定が可能）
カスタムセッティング	カスタムモード（M-REC）のメニュー設定の3種類の組み合わせ を記憶可能
撮影機能	1コマ撮影、連写、高速連写、16分割マルチ連写（約2コマ／秒）、 ベストショットセレクタ、モノクロモード、XGAモード、VGA モード、電子ズーム撮影モード、セルフタイマー
測光方式	マルチ測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用 Pモード：1秒〜1/750秒、Aモード：8秒〜1/750秒、 Sモード：8秒〜1/500秒
絞り	電磁駆動による絞り開口選択方式、P/S/Aモードとも3段階
露出制御	プログラムオート、絞り優先オート、シャッター優先オート、 露出補正可能（-2〜+2EV、1/3EVステップ）
露出連動範囲	EV-2〜15.5（W）、EV-0.8〜16.7（T）、ISO100換算
撮像感度	ISO約80相当、感度切り換え可能
ホワイトバランス	オートホワイトバランス、マニュアル設定可能、プリセット 可能
セルフタイマー	3秒、10秒

スピードライト	ガイドナンバー	9（ISO100・m）
	調光方式	自動調光制御
	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、スローシンクロ、および赤目軽減自動発光（スピードライト発光前に約0.8秒間ランププリ照射を実行）の5モード切り換え可能
増灯ターミナル		増灯ブラケットSK-E900を介してニコン35mm一眼レフ用スピードライトが使用可能（SB-28、26、25、24、22s、22にて自動増灯撮影が可能、増灯アダプタAS-10、増灯コードSC-18、19の使用で5灯まで増灯可能）
再生機能		1コマ再生、サムネイル再生（9分割）、オートプレイ、再生画拡大表示機能（2倍/3倍）
消去機能		クイックデリート、全コマ消去、指定コマ消去、カードフォーマット
インターフェース		シリアルインターフェース、ビデオ出力（NTSC）
入出力端子		外部電源入力、ビデオ出力、シリアル端子、増灯ターミナル
電源		単3形アルカリ乾電池×4本、単3形ニカド電池×4本、単3形ニッケル水素電池×4本、単3形リチウム電池×4本、外部電源（6.5V、2.5A）
連続撮影時間		約60分（液晶モニタ使用時）
使用条件		温度：0℃～+40℃ 湿度：85%以下（結露しないこと）
外形寸法、質量（重さ）		143（W）×76.5（H）×36.5（D）mm、350g（電池別）
付属品		コンパクトフラッシュカード（8MB）、ソフトケース、ストラップ、ビデオケーブル、レンズキャップ、単3形アルカリ乾電池4本、使用説明書

※仕様中のデータは、すべて常温（20℃）、新品アルカリ乾電池使用時のものです。

参考値：連続撮影コマ数（電池寿命）の目安

	液晶モニタオンで撮影
アルカリ電池（付属品）	約120コマ／約60分
ニッケル水素電池（1450mAh）	約180コマ／約90分

※測定条件は当社条件（撮影毎にズーム、約3割のストロボ撮影、FINEモード、常温<20℃>）によります。
※電池の寿命はブランドやグレードにより差があります。
※撮影する際に、液晶モニタをオフにしてファインダーのみで撮影することで電池の消耗を防ぐことができます。
※仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

オートパワーオフ機能

COOLPIX 950には、電池の消耗を防ぐため、一定時間カメラの操作が行わない場合に自動的に低消費電力状態に切り換わるオートパワーオフ機能が搭載されています。
…オートパワーオフ時には、上部表示パネルと液晶モニタの表示が消灯します。
…オートパワーオフ前の設定状態は、カメラ本体内に記憶されます。
●オートパワーオフ状態のままカメラを収納しないでください。シャッターボタンが押されると、パワーオフの解除・作動動作を繰り返して電池の消耗の原因となる恐れがあります。

オートパワーオフ機能の作動開始

	撮影モード（A-REC、M-REC）時		再生モード（PLAY）時	
	上部表示パネル・液晶モニタ表示	ビデオ信号出力※1	上部表示パネル・液晶モニタ	ビデオ信号出力時※1
単3形電池使用時	撮影メニューの「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でオフ（撮影メニュー表示は3分でオフ）※2	「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でビデオ信号出力停止（撮影メニュー表示は3分でオフ）	再生メニューの「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でオフ（再生メニュー表示は3分でオフ）※2	「パワーオフ設定」での設定時間（30秒／1分／5分／30分）無操作状態でビデオ信号出力停止（再生メニュー表示は3分でオフ）
ACアダプタ使用時	30分無操作状態でオフ	30分無操作状態でも出力継続。液晶モニタのみOFF ※3	30分無操作状態でオフ	30分無操作状態でも出力継続。液晶モニタのみOFF ※3

※1　ビデオ信号出力については ☞ P.96
※2　出荷時の設定ではオートパワーオフになるまでの時間は30秒にセットされています。
※3　液晶モニタはモニタボタンでONにしてください。

オートパワーオフ状態からの起動

カメラがオートパワーオフ状態のときにシャッターボタンの半押し操作、モニタボタンの操作があった場合、オートパワーオフは解除され、上部表示パネルと液晶モニタが点灯し、カメラ各部の設定はオートパワーオフ前のセット状態に復帰します。

索　引

英•数

あ

か

参考

株式会社ニコン　　Nikon

■ 技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは下記当社電子画像テクニカルセンターをご利用ください。

140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2階）

株式会社ニコン　電子画像テクニカルセンター

☎ (03)3773-0191　FAX(03)3773-8569

営業時間　9：30〜17：00（土・日曜日、祝日を除く毎日）

＊このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

K1J0050702(10)

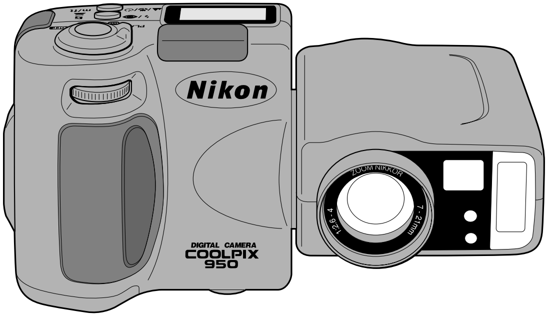
Printed in Japan　　*6MJ41604-07*

Nikon

ニコンデジタルカメラE950

COOLPIX950

クールピクス950



新機能補足説明書

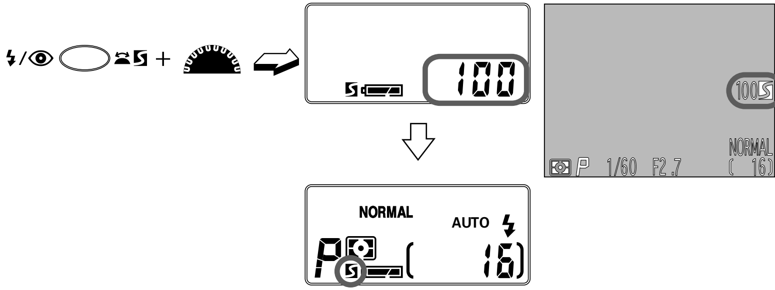
ニコンデジタルカメラCOOLPIX950（E950）をお買い上げいただき、ありがとうございます。本補足説明書では、新たにカメラに追加された機能について説明しています。カメラ機能の追加に伴いまして、カメラのファームウェアは1.3にバージョンアップがされています（バージョンアップの確認方法は裏面をご覧ください）。

1.「感度変更モードのセット」（P.45）でセット内容をdEFにした場合、低輝度時に標準感度（ISO80相当）から、自動的に感度アップをします。
2.「画面の明るさ」（P.62）でセット内容を○にした場合、従来に比べ画面の明るさが明るくなっています。また、＋にした場合、バックライトにより画面の明るさを明るくするだけでだけでなく、輝度レベルを変更して明るくします。
3.「連番モード設定」（P.60/68）がM-RECだけでなく、A-RECでも行えます。
4.シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影のときは、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯します。

●新機能補足説明書に記載されていない項目については、COOLPIX950（E950）の使用説明書をご覧ください。

1.感度変更モードのセット（P.45）

COOLPIX950の標準時の感度はISO約80相当ですが、低輝度時には自動的に感度アップします。また、感度変更モードでは、撮影者自身が標準よりも撮影感度を高くセットすることができ、暗いところでの撮影でも被写体を明るく撮影することができます。撮影した被写体の明るさを見ながら撮影状況に合った感度をセットしてください。



…M-REC時に感度変更ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回し、セットする下記の感度設定表示を上部表示パネルに表示させます。

dEF	：	通常は標準感度（ISO約80相当）にセットされますが、低輝度時には＋2段まで自動的に感度アップします。
100	：	ISO100相当
+1.0	：	標準感度より1段高い感度に変更します
+2.0	：	標準感度より2段高い感度に変更します

…dEFにセットし、低輝度時に自動的に感度アップしている場合、液晶モニタには感度変更マークが表示されます。また撮影者自身が感度変更を行っている場合、上部表示パネルには感度変更マークが、液晶モニタには感度変更マークと100、＋1、＋2のいずれかが表示されます。

…撮影者自身による感度変更はM-REC時のみ有効です。感度のセット後にセレクトダイヤルをA-RECに合わせた場合、セットした感度は無効になり、dEFの標準感度（ISO約80相当）にセットされ、低輝度時には自動的に感度アップして、感度変更マークが点灯します。ただし、セレクトダイヤルを再びM-RECにセットすると、セットした感度に復帰します。

…感度変更モードをキャンセルする場合は、dEFにセットしてください。

…暗い場所や動きの速い被写体の撮影以外はdEFの標準感度（ISO約80相当・感度変更マークが消灯の状態）で撮影することをおすすめします。

● 「100」、「+1.0」、「+2.0」および低輝度時に自動的に感度アップしているときは、dEFの標準感度（ISO約80相当）に比べて、多少ザラついた画像になる場合があります。

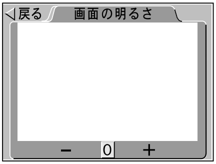
●感度変更モードでは、シャッター優先オートは選択できません。シャッター優先オートのときには、撮影感度はdEFの標準感度（ISO約80相当）に固定されます。 シャッター優先オートについては ☞P.43

●絞り優先オートを選択した場合、低輝度時でも自動的に感度アップは行われません。

2.「画面の明るさ」（P.62）

画面の明るさ

液晶バックライトの明るさを3段階の中から選択します。



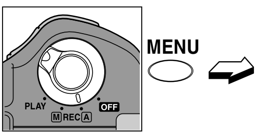
［セット内容］
－　：画面の明るさを暗くします
○　：画面の明るさを中間の明るさにします
＋　：画面の明るさを明るくします

…ズームボタンでいずれかを選択すると、カーソルの移動と連動し、画面の明るさが変わります。シャッターボタンを押すとセットされSET UPのメニューに戻ります。
…＋にセットした場合、バックライトにより画面の明るさを明るくするだけでなく、輝度レベルを変更して明るくします。なお、同時にテレビ・ビデオに接続した場合（P.96）、ビデオ出力の明るさも明るくなるため、テレビのモニタ画面では若干見ずらい場合がありますのでカメラ側で明るさを調節してください。
…セットされた画面の明るさはA-REC、M-REC、PLAYのすべてに適用されます。

3. SET UP画面の呼び出し（A-REC時）「連番モード設定」（P.60/68）

SET UP画面の呼び出し

A-REC時





NIKON	フォルダ設定	P.62
0	画面の明るさ	P.62
ON	操作音	P.63
30S	パワーオフ設定	P.63
CARD	カードフォーマット	P.64
□	連番モード設定	P.68
◷	日時設定	P.64

…A-REC時にメニューボタンを押すと、液晶モニタに撮影SET UPメニュー画面が表示されます。
…　が付いている項目は、撮影SET UPメニュー画面で次ページのコマンドダイヤル操作によって機能をセットできます。
…連番モード設定のセット方法についてはM-REC時と同様になります。P.68をご覧ください。

4.シャッタースピード表示の表示変更

シャッタースピードが1／4秒より長時間になる撮影では、液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯します。その際、撮影画面の暗い部分にノイズが出るときがあります。ノイズが気になる場合は、スピードライトを発光させるか、または絞りを開放にしてシャッタースピードを1／4秒より高速になるようにしてください。

バージョンの確認方法

1 COOLPIX950のセレクトダイヤルをOFFにする。

2 MENUボタンを押しながらセレクトダイヤルをA-RECにする。
…MENUボタンは液晶モニタに表示が行われるまで押し続けてください。

3 液晶モニタのバージョンを確認する。
…液晶モニタにはバージョン1.1の場合「E950 V1.1」と表示され、バージョン1.3の場合「E950 V1.3」と表示されます。

4 COOLPIX950のセレクトダイヤルをOFFしてバージョンの確認を終了する。